

地方史情報

113

2013年2月

「二〇世紀民俗学」を乗り越える

菅 豊

現代民俗学とは、「20世紀民俗学—これまでの民俗学」に、これまでなかった新しい学知を付加し、さらに、「20世紀民俗学」を乗り越え、新しい民俗学へと変革を目指す学問の流れである。ここで言う「20世紀民俗学」とは、20世紀に柳田国男たちによって始められた日本の土着文化の理解とその復興運動、そして、その学問化を進めた運動を指す。それは、ある時代の要請によって生成した「時代の産物」であり、当初は「野の学問」として出発し、百年近い時間の経過とともに体系化され、組織化され、そして制度化された。この「20世紀民俗学」の成立の最終段階で、大きな役割を果たした民俗学者の一人に、本書が主題化した福田アジオ氏がいる。(中略)

現代において民俗学を標榜するのなら、私たちはこの「20世紀民俗学」からの飛躍を試みなければならないだろう。それは、福田氏、および同時代の人びとの学問を乗り越えることでもある。(中略)

このような疑問と危機意識にかられた私たちは、「20世紀民俗学」の代表的論客である福田氏と直接に対峙して議論する研究会を企画した。その研究会の企画のサブテーマを「私たちは『二〇世紀民俗学』から飛躍できるのか?」と題したが、そこには「現代」という名辞によって形容される民俗学を創り上げようとしている人びとを、再び覚醒させる意図が込められていた。しかしながら、その乗り越え、あるいはそこからの飛躍は、これまでみずから意識せずに、自覚せずに依って立ってきた、寄りかかってきた「20世紀民俗学」の根本—目的・方法・対象—を更改しなければならない作業であり、ことによってはそれを捨て去らなければならないほどの困難な作業である。そして、「20世紀民俗学」を捨て去ったときに、新しい民俗学が再生されるとは限らないのである。

本書は、2010年7月31日に東京大学東洋文化研究所で開催された現代民俗学会第6回研究会「《討論》福田アジオを乗り越える—私たちは『二〇世紀民俗学』から飛躍できるのか?—」で取り交わされた、福田氏との熱論の記録である。そこでは、乗り越える対象としての「二〇世紀民俗学」とは何だったのか。その可能性と問題点とは何か。それはこれから継承可能なのか。そして、それとの決別は可能なのか。といった問題群が検討されている。(後略)

(福田・菅・塚原著『「二〇世紀民俗学」を乗り越える』2012.12、小社刊、序言より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒005-0803札幌市南区川沿三条4-6-5 打田
元輝方 TEL011-556-1416／〒062-0007札幌
市豊平区美園七条 1 丁目3-1-507 高木崇
世芝方 TEL011-821-2831 年5000円

◇45 2012.8 B5 6p

第16回アイヌ語地名研究大会終
る

平成24年度総会報告

会員アンケートの集約(2012年5～
6月実施)

「アイヌ語地名」看板の紹介／図書
・会誌・会報・論文などの紹介

◆標茶町郷土館報告

〒088-2261北海道川上郡標茶町塘路1-12
TEL015-487-2332 1985年創刊

◇24 2012.8 A4 83p

標茶町指定有形文化財「北海道集
治監釧路分監本館」の変遷と、
その建築構造について 坪岡 始
“霧のない空港”を標茶町内に
一民間委託で地域活性化を 横平 弘
アイヌコタン トウロ(現標茶町
塘路)周辺の自然環境 小荷田行男
アイヌコタン ニシベツ(現標茶
町虹別)周辺の自然環境

小荷田行男／佐藤杏子
釧路地域におけるアオサギコロニ
ーの変遷―塘路湖での継続調査
から 辻ねむ／上野裕介／

澁谷千尋／二色武子
標茶町塘路地区に生息するキタサ
ンショウウオ (*salamandrella keys
erlingii*) の活動状況 照井滋晴／澁谷千尋
佐藤孝則／中林成広
高層湿原に散乱するトンボの翅 佐々木誠治
北海道東部の昆虫盛衰記(1)
チョウ類 飯島 一雄
北海道東部の鞘翅目―ミズスマシ
科、ダルマガムシ科、マルドロ
ムシ科、セスジガムシ科、チビ
ドロムシ科、ナガドロムシ科、
ドロムシ科 飯島 一雄
北海道の半翅類追加資料(3) 飯島 一雄
クロスジオオウンカの新産地 飯島 一雄
平成23年度標茶町郷土館 年報

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでる2・7ビル 9階 TEL011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/

◇332 2012.7 B4 4p

平成24年度通常総会
文化財めぐりに参加して 戸田 源二
総会を終えて
協会の更なる発展を目指して 舟山 廣治
登録文化財ニュース 登録有形文
化財への答申 北海道から建造
物8件
積丹町にみられる大祓の神様 舟山 廣治
積丹文化財散歩―地域の歴史を伝
える取り組みを見る 阿部 剛
世界文化遺産への登録をめざして

(10) 新千歳空港での情報発信

北海道教育庁生涯学習推
進局文化・スポーツ課

2011年度ユネスコ・イコモス総会

(パリ)に出席して 山田 大隆
文化財を守る 北海道家庭学校 K・S
北国のイネ物語(下) 佐々木多喜雄
文化財と私

由仁町岩内遺跡の保存・活用 澤田 憲且
読者の声

羅臼町郷土資料館 涌坂 周一
北海道文化財保護協会が取り組
む平成24年度の事業について
／各文化施設の公開情報につ
いて
他団体等寄贈の刊行物等／文化
財講演会開催のご案内／会員
紹介／「北海道の文化」の原
稿を募集／事務局日より

◇333 2012.9 B4 4p

見て感じ心にきざむ文化財 「北
海道文化財保護強調月間」始ま
る
平成24年度子どもの文化財愛護活
動推進事業 加藤つばさ
「夷酋列像」再発見シンポジウム 高久 忠明
文化財を守る特集 座談会 文化
財を生かした日本の未来像

舟山廣治／玉井日出夫／司会・原一夫
「目からうろこ」の文化財めぐり 田山 修三
地域に根差した40年 木下寿美夫
赤レンガ庁舎の美にふれる／他団
体等寄贈の刊行物／会員紹介

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館
〒093-0042北海道網走市潮見309-1 TEL01
52-45-3888 1991年創刊 hoppohm.org

◇86 2012.9 A4 6p

第27回特別展

永久凍土の大地に生きる 中田 篤
講習会 東シベリア・サハの楽
器・口琴体験 講師：直川礼緒・
鈴木紀美代／東シベリア・サハ
の刺繍 講師：直川ナディア／
東シベリア・サハの料理 講師
：直川ナディア 中田 篤
アイヌ文化講習会 アイヌのシカ
笛づくり 講師：野本正博・岡
田恵介 渡部 裕
講演会 氷と寒さを利用する文化
―サハの生活と社会 講師：高
倉浩樹 中田 篤
調査・講習会 能取岬西岸遺跡発
掘調査／講習会「発掘体験」 角 達之助
北海道博物館紀行 根室市歴史と
自然の資料館 講師：猪熊樹人
角 達之助

第27回北方民族文化シンポジウム

環境変化と先住民の生業文化／
明治大学政治経済学部寄贈資料
展―明治大学アラスカ遠征の記
録

◆岩手県南史談会研究紀要

〒021-0023岩手県一関市銅谷町2-3
高橋龍夫方 1953年創刊

◇41 2012.7 B5 71p

刊行に当たって 遠藤 輝夫
研究発表
山目村鍛冶町通り見聞録
―鍛冶町に生きた人々 阿部 和夫
村上水軍は岩手に来たか 赤塚 愛人
大原吞響の考察 菅原 宏通
紙上発表
骨寺・舞草修験と産鉄 小野寺 啓

霊山・須川と修験	
「赤川津・安部氏」の出自を尋ねて(4)	前沢町史及び岩手県史にみる中世・近世移行期の「赤生津村」を巡る状況
	安部徹良／安部皓三／安部公良／森静子
特別報告 平泉文化遺産の世界遺産登録への歩み(概略報告その1)	遠藤 東海 高橋 龍夫
会 報	
◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会	
〒020-0102岩手県盛岡市上田字松屋敷34	
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688	
1970年創刊	
◇250 2012.7 A4 8p	
民俗芸能を支える道具 阿修羅系	
剣舞の衣装「大口＝おおくち」	
今年度の県民俗芸能大会共催にあたって	松尾 光則
文化財と博物館経営	中山 敏
平泉文化の原点・江刺	菊池 慧
文化財行政の課題	佐々木一成
二年目の盆	中田 功一
船大工の技が地域の希望に	佐々木克孝
続平泉志(14)	
達谷窟毘沙門堂(下)	及川 和哉
新理事に三氏 愛護協会の総会／「後藤新平」を学ぶ 五月の郷土史学習会	
◇251 2012.9 A4 12p	
《特集 祝 中尊寺ご本尊の新造立 浄法寺漆と金箔仕上げ》	
釈迦如来ご真言に思う	菅野 澄順
中尊寺新本尊造立に思う	藤里 明久
中尊寺新ご本尊	
お会い出来る日を楽しみに	藤波 洋香

「浄法寺漆」と中尊寺新ご本尊	中村 景子
平泉世界遺産の追加登録の動きを巡って	安藤 厚
柳之御所遺跡調査をふりかえる	
“遺跡保存と遊水地事業の両立”	斎藤 邦雄
「えさし藤原の郷」の背景	千葉 俊一
平泉の世界遺産	
追加登録は県民みんなの力で	菊池 修一
続平泉志(15) 骨寺	及川 和哉
震災に負けるな！ 民俗芸能大会で激励 矢巾町・盛会に終わる土偶が語る縄文の世界 七月の郷土史学習会／安倍氏は貴族の出身 八月の郷土史学習会／11月1日 盛岡で縄文フォーラム 参加者を募る／愛護協会の事業日程	
◆ホツマ ホツマ研究会	
〒020-0026岩手県盛岡市開運橋通3-35-201	
TEL019-653-5554 年3000円	
◇68 2012.3 A4 8p	
大震災後、一年を経過して	小川 蒼秀
大祓詞とホツマツタエ	小野寺白龍
◇69 2012.7 A4 6p	
原点を振り返って	小川 蒼秀
大祓詞とホツマツタエ(続)	小野寺白龍
◆道鏡を守る会通信	
〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35	
本田義幾方 TEL0229-22-7364 年3000円	
◇97 2012.7 A4 8p	
奈良探訪旅行／今後の予定	
日本語を考える(続) さい・さや	
祇園という地名	辻 正次
奈良方面旅行(6月19～21日)報告	

道鏡情報(孝謙編) 西大寺八角七重塔に称徳天皇の思い(大法輪5月号)／皇位継承に関して(『歴史読本7月号』などから)／宇佐八幡神託事件に関して／板碑に「道鏡禅門」	
道鏡情報(道鏡編) まだまだはびこる道鏡悪人視／道鏡塚が絵図に	
◆東北民俗 東北民俗の会	
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 宗教学研究室	
FAX022-795-6022 年4000円	
1966年創刊 tohokuminzoku.com	
◇46 2012.6 A5 94p 1000円	
拒絶された土葬	
一東日本大震災の現場から	佐藤 敏悦
津波石の伝承誌	川島 秀一
大崎耕土の産婆たち―パラオでの産婆見習いを経て	鈴木由利子
現代に生きる『会津農書』	佐々木長生
ツブシウチとナワバリ	稲 雄次
民俗の変容の中で続くものの意味	
一岩手県北上市の葬送の手伝いと儀礼	武井 基晃
飛鳥法木村落におけるタコツキの	



変遷―近世篇	新垣 夢乃
村田町におけるアキハサン	
―“廻り”の宗教民俗学	佐々木利恵
山伏神楽における演目の成立と展開	
一岩手県の事例を中心として	千葉 暁子
食の経験と志向―青森県南部地方の女性の生活史から	土橋 大典
平成23年度東北民俗の会年次報告	
*佐藤敏悦「拒絶された土葬―東日本大震災の現場から」により、東日本大震災の被災地において、犠牲者の遺族の土葬への拒絶反応が強く、「土葬こそ本来の葬送」と考えていた民俗学者や宗教学者に大きな衝撃を与えていることを知った。特に被害の大きかった宮城県沿岸部では、火葬場の損壊により火葬による遺体処理ができず、多くは仮埋葬された。その間、遺族から「土葬は可哀そうだ」、「早く火葬してあげたい」との声が上がり、これが土葬に対する拒絶反応と受け取られた。東北民俗学会の鈴木岩弓会長も、遺族への調査などから、「あり得べき死者像」を求める遺族の希望を達成するためには火葬が必要であったと結論付けているとのことである。埋葬に対する意識として、宮城県は全国的な統計的からみて決して土葬の少ない地域性ではない。それでも住民は、仮埋葬は受入れたが、少しも早く火葬に付したいと望んでおり、「東日本大震災が明るみに出した『土葬への拒絶』は、土葬の終わりの始まりであった」と結論付ける。	
私事ながら私は土葬を当たり前な葬送とする地域に生まれ育った。その感覚からして、土葬は先祖累代の者が眠る特別な場に埋葬されて始めて葬送であると思う。仮埋葬＝土葬ではないと考えるが、それは土葬拒絶とは違う。葬送は即ち人間の尊厳の問題である。様々なことを考えさせてくれた。	

◆ナジェージダ (希望)

石巻若宮丸漂流民の会
〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
大島幹雄方 TEL045-773-4643
homepage2.nifty.com/deracine/
◇28 2012.7 A4 32p
2011年度総会報告 大野 康世
『初めて世界一周した日本人 若宮
丸漂流』紙芝居を演じて ダメじゃん小出
ハラショー！ダメじゃん小出さん
の新芸「紙芝居&嘶」 木村 成忠
紙芝居に吹き込まれた新しい生命
千葉 景子
特集・震災から一年経って
石巻 東日本大震災より1年 本間 英一
寒風沢 塩竈市浦戸諸島の現況
報告一ふるさとは胸が詰まる
辛い風景だった 綿 晋
荒浜 未来をめざして前に進も
う！ー荒浜小の再生に向けて
齋藤 博
2012年東京例会報告
紙のページに生命が宿った 稲垣 滋子
仙台・八本松 八幡宮碑祭礼 高橋 寿之
サンクトペテルブルグからクロン
シュタットへの Excursion そ
の1 アレクセイ・クルーゼン
シュテルン氏との Excursion 滝川 祐子
日本語教師の先輩 善六さんよ、
あんだはすごいなあ！ 橋本 俊一
大概玄沢と800年戦争 高橋 寿之
大概玄沢よ、君はフェルメールが
見たのと同じ地図を見たか？ 佐藤三寿夫
生田美智子著『高田屋嘉兵衛』
自著を語る『高田屋嘉兵衛』に
ついて 生田美智子
『高田屋嘉兵衛』を読んで 齋藤 智之
連載小説をはじめて 大島 幹雄

告知板 会員消息／あとがき

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会
〒011-0909秋田市寺内児桜1-5-55
古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
1981年創刊
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
◇77 2012.8 B5 14p
平成24年度総会開催
岩手県の菅江真澄の足跡
足跡探訪会を実施
ー菅江真澄終焉の地を訪ねて 田口 義久
真澄短信
真澄の一枚(9) 善知鳥神社と青
森湾のながめ 『粉本稿』より
(大館市立中央図書館提供)
平成24年度学習会のお知らせ／浅
利香津代の朗読公演と真澄ツア
ー／安村二郎氏ご逝去
秋田県立博物館の案内／新入会員
の報告／刊後録／平成24年度総
会資料
◆北方風土 北方風土社
〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野
乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027
1980年創刊
◇64 2012.8 A5 222p 2000円
佐藤信淵『乗統秘録』について 稲 雄次
平成23年秋田県の地域史研究
ー近代・現代を中心に 田口勝一郎
山の小文(1)
出流山満願寺 訪問記 田牧 久穂
奥羽鎮撫副総督澤為量に対する秋
田藩の応接一慶応四年五月戊辰
戦争秋田戦線 神宮 滋
大曲・田口謙蔵氏宛の書簡から(1)
柳田国男氏からのたより 高倉 光一

佳(忠)姫様のことー江戸・縁談 原 千秋
百家風発
稚拙なる我が稿を送り出すの記 神宮 滋
「沢内通りの湖水」と「万治が
沢」の「化物退治」そして
「ベコ、マッコ峠越え」と、
「歌」の「沢内甚句」と「哀
愁」の「沢内甚句」 高橋 暁樹
書評 『鳥海山縁起の世界』(神宮
滋著) 稲 雄次
日本一の「野馬土手」と「牧」遺
跡ーアイヌの伝説に包まれた八
戸市の妙野ノ牧 松橋 由雄
鍛冶の神を考察する(上) 佐藤 松雄
純方言版 ひろし爺さまの昔話 本城屋 勝
◆聴雪 新庄古文書の会
〒996-0084山形県新庄市大手町2-65
大場英一方 TEL0233-23-2786 1997年創刊
◇16 2012.7 B5 105p
写真 平成24年度新庄古文書の会
総会・開講式／平成23年度 古
文書団体合同野外研修会／平成
23年度テキストの中から
巻頭言 古文書から学ぶ 大泉 友子
凡例・編集について
特別寄稿 私の古文書散歩(2) 大友 義助
入門講座の学習
仮題「一紙文書六点」(小河原
ヒデ子・早坂誠・大場英一・
伊藤善一)
仮題「一紙文書六点」 解説 新國 吉朗
荒木家文書「覚」(神奈川表外
国人警固指令書)(伊豆倉公
子・佐藤寿也・柴崎ユキ)
荒木家文書「覚」 解説 伊藤 勉
荒木家文書「名高村開発 覚書」

(神崎清次・荒川輝夫・大友
寿美代・丹栄一)
荒木家文書「名高村開発 覚書」
解説 伊藤 善一
沼沢明収集文書「本ノ勤方書上
留」(沼沢美恵子・佐藤周一)
沼沢明収集文書「本ノ勤方書上
留」 解説 土屋 道郎
中級講座の学習
古瀬本「古老覚書巻」(2)(矢口
三直・高橋秀弥・梁瀬平吉・
成沢清久・梁瀬龍夫・杉原實・
矢口實・沓沢正昭・武田清夫・
阿部一・大山昭徳)
古瀬本「古老覚書巻」(2) 解説
大友 義助
清水村小屋家文書二点(矢口實)
清水村小屋家文書二点 解説 大友 義助
乍恐申上候御事(横目付の谷地大
火等の上申書) 大場 英一
萬御用留(戸沢矢一左衛門日記) 武田 清夫
随 想
第10回「全国藩校サミット」参
観記 土屋 道郎
鮭延秀綱物語
ーその功績を考える 梁瀬 平吉
『木田清先生のこと』を読んで 梁瀬 龍夫
木田清先生の「金婚式」につい
て 大場 英一
直感象記憶 大場 英一
一粒一滴
新庄の地名「神明町」 大友 義助
新庄の地名「本城と向町」 大友 義助
新庄の地名「四つ屋・仁間・六
軒町」 大友 義助
新庄の地名「内町・内川」 大友 義助
言葉の謂れ「さんげさんげ」 大友 義助
言葉の謂れ「木の股年」 大友 義助

新庄古文書の会「会務報告」

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報

〒999-2232山形県南陽市三間通361-8

須崎寛二方 TEL0238-43-5299

◇190 2012.8 B5 10p

宮内熊野大社史おぼえ書(8) 須崎 寛二

第212回学習会から

朱山銅山、刀工・水心子正秀

◆まんだら 東北文化友の会会報

東北芸術工科大学東北文化研究センター

〒990-9530山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-

2168 年10000円 1999年創刊

gs.tuad.ac.jp/tobunken/

◇51 2012.7 B5 24p

『まんだら』リニューアルによせ

て 田口 洋美

お知らせ 新規研究プロジェクト

が「文部科学省 私立大学戦略

的研究基盤形成支援事業」に採

択されました

対談 学生とフィールドヘー研究

と教育のコラボレーション

田口洋美／竹原万雄

オープン・リサーチ・センター整

備事業「東北地方における環

境・生業・技術に関する歴史動

態的総合研究」終了の報告

フィールドワークの現場から 小

玉川での熊祭りといわび野焼き

研究員からのメッセージ Part1

内藤正敏／入間田宣夫

／安斎正人／佐藤健治

イベント報告&案内

◆村山民俗 村山民俗学会

〒990-0821山形市北町3-3-45 市村幸夫方

TEL023-684-5708 年3000円 1988年創刊

www.chance.gaiax.com/home/imichiaki

◇26 2012.7 B5 85p

遺稿 秋元藩館林所替番立帳 渡辺 信三

古代上山の海人文化

一尾形氏を中心に 清野 春樹

資料に見る山形市東澤村の「緬羊」

會田 庄一

葉山信仰の諸相(5)

一岩手県のはヤマ信仰 鈴木 聖雄

鮭の大助とはなにか

一擬人化と怨霊化 村田 弘

「稲酒売」について 伊藤 登啓

「天道念仏」に関する文献から

一『江戸名所図会』を中心に 加藤 和徳

韓国における伝統文化の受容

一婚姻をめぐる 岩鼻 通明

子どもの伝承文化体験とその意義

に関する考察 菊地 和博

平民屯田と薄荷の渡道一天童市高

揃出身の人物を通して 野口 一雄

明治後期の北海道開拓における功

労者たち一高橋村からの開拓者

石山家一族の働き 村山 正市

最上屏風一光禪寺版「ゲルニカ」 市村 幸夫

会の歩み(2011年度)

関 東

◆常総の歴史 崙書房出版茨城営業所

〒315-0014茨城県石岡市国府4-6-5

TEL0299-24-0595 1987年創刊

◇44 2012.7 A5 101p 1048円

『和名抄』にみえる常陸国新治郡

の郷について(10)一大幡郷を中

心に 久信田喜一

徳川千姫の生涯 内海 昭佳

つくば市蚕影神社の養蚕信仰 近江 礼子

江戸の水戸藩邸 河野 弘

赤穂浪士と忠誠観念一「堀部武庸

筆記」を中心として 栗原 亮

資料紹介

昭和十二年「浮島御案内」 太田 尚一

郷土の本／受贈図書の紹介コーナ

一

思い出と感謝

一志田諄一先生を偲んで 太田 尚一

◆歴史と文化 栃木県歴史文化研究会

〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2

栃木県立博物館内 TEL028-634-1313

年4000円 1992年創刊

◇21 2012.8 A4 87p 2000円

表紙写真解説 大橋淡雅像(部分)

本田 諭

巻頭言 五重塔の不思議 千田 孝明

研究論文

中世饒阿寺の寺領経営 中田 愛

戦国期東国領主の儀式・儀礼 木村真理子

研究ノート 那珂川町馬頭地区の

中世城館跡について 小川 英世

シリーズ「道」特集 近世下野の

街道をめぐる諸問題一街道研究

の一断面 船木 明夫

書 評

菅原信海・田邊三郎助編『日光

その歴史と宗教』 新井 敦史

江田郁夫著『中世東国の街道と

武士団』 前川 辰徳

追悼 本会顧問 大町雅美先生の

ご逝去を悼む 阿部 昭

活動記録 栃木県歴史文化研究会

活動の記録

各種情報欄 文献情報(図書一覧

・研究論文一覧)／平成23年度

栃木県県内発掘調査情報／平成

23年度新規指定文化財一覧

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2

栃木県立博物館内 TEL028-634-1313

年4000円 1991年創刊

◇84 2012.7 A4 4p

《特集 災害と社会》

災害と社会一人々は自然の猛威に

どう向き合ったか 平野 哲也

災害にまつわる民俗事象と知識 宮田 妙子

栃木県の遺跡における大洪水の痕

跡について 上野 修一

室町期日光山と自然災害 新井 敦史

天和地震・五十里水と五十里村 平野 哲也

栃木県歴史文化研究会第22回総会

・大会のご案内

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26

群馬県立文書館内 TEL027-221-2346

年4000円 1957年創刊

members3jcom.home.ne.jp/gunmabunka/

◇311 2012.7 A5 96p

《特集 地域史研究の最前線 Part II

一群馬の中世史》

趣旨説明

「群馬の中世史」を開催して 久保田順一

研究発表

中世成立期上野国と受領・武士

団の動向一上野介藤原重家・

豊嶋一族を中心に 須藤 聡

室町・戦国期上野国の政治的位

置について一15世紀における

発給文書の様式の変化を通じ

て 森田 真一

中近世移行期の上野南雲地衆と

地域社会 築瀬 大輔

研究大会報告

「地域史研究の最前線 Part II 一

群馬の中世史一」に参加して
秋山 正典
平成23年度群馬県地域文化協議
会研究大会に参加して 青木 裕美
動 向
玉村中世史研究会の活動紹介 飯森 康広
文化財レポート
旧石器時代の住居状遺構
一小暮東新山遺跡 桜井 美枝
川場村吉祥寺 木造釈迦如来座
像の報告 角田 貫
国指定重要文化財「銅五種鈴」
について 長柄 行光
平成24年度群馬県地域文化研究協
議会総会並びに第28回地域研究
会(於・甘楽郡下仁田町)の開催
藤井茂樹／阿久津聡
新刊紹介
鈴木芳行著『蚕にみる明治維新』
宮崎 俊弥
玉村町歴史資料館『玉村戦国文
書資料集』 久保田順一
玉村町九条の会編『玉村町の戦
争事跡』 菊池 実
館林市編さん委員会『館林市史
資料編1 原始古代 館林の遺
跡と古代史』 磐下 徹
時枝務著 考古調査ハンドブッ
ク6『山岳考古学―山岳遺跡
研究の動向と課題―』 関口 功一
若狭徹著『高崎千年物語』 中島 直樹
須田勉・佐藤信編『国分寺の創
建 思想・制度編』 高井 佳弘
追悼 阿久津宗二氏の逝去を悼む
田中 康雄
消 息
口絵 松平輝規筆 写止両山記
一群馬県立歴史博物館蔵品資料

(112) 築瀬 大輔
◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
www16.plala.or.jp/kuzira226/
◇225 2012.7 A5 56p
《特集 前橋市の文化財》
前橋市の文化財
前橋市教育委員会文化財保護課
新たに指定された本市の重要文化
財「前橋領主松平大和守の甲冑」
前橋市教育委員会文化財保護課
最近指定された本市の史跡「遠見
山古墳」「荒子杉山古墳」
前橋市教育委員会文化財保護課
最近指定された本市の天然記念物
「大室公園のコナラ」
前橋市教育委員会文化財保護課
明治11年に開口した前二子山古墳
の石室 前原 豊
総社古墳群
一古代群馬への流れをみる 福田 實之
東国のロマン・山王庵寺跡 山下 歳信
解明が進む上野国府 阿久澤智和
新版『前橋の文化財』
前橋市教育委員会文化財保護課
中居屋重兵衛の母「のぶ」につい
ての考察 安斎 洋信
高山彦九郎日記による歴史散歩
(32)『丁酉春旅』(12) 正田 喜久
れきさんサロン 俳句 西山 由子
れきさんサロン 短歌 平田 経子
紹介 『一倉又兵衛漫遊記 上巻』
渋川市教育委員会 事 務 局
忘れられた養蚕指導者
竹内邦造翁の顕彰碑について 永田 勝治
船津翁の碑 北爪 隆雄

紹介 『女たちの明治維新』 金井 好彌
四十周年記念号への執筆のお願い
井野 修二
スリランカ シーギリヤ・ロック
と美女たちの壁画 山崎 正
スリランカの報告(事務局企画)
事務局だより／支部だより
◇226 2012.9 A5 56p
《特集 太田市の文化財》
新指定史跡 寺山古墳 静野 勝信
塚廻り古墳群の発掘調査 須永 光一
オクマン山古墳出土の埴輪飾り馬
の修理について 須永 光一
新田郡衙の発掘調査 小宮 俊久
金山城跡とガンダンス施設 中村 渉
中島知久平邸
一発見資料からわかったこと 静野 勝信
箕輪城12万石と井伊直政 西原 巖
小説『坂の上の雲』に紹介された
『鉄血』の著書 猪熊敬一郎中尉
永田 勝治
高山彦九郎日記による歴史散歩
(33)『丁酉春旅』(13) 正田 喜久
庭園の散歩 小山 宏
れきさんサロン「群馬歴史散歩の
会」のホームページで検索を 田口 正美
平泉の黄金文化と花巻・水沢の著
名人を訪ねて 山崎 正
歴史散歩の報告(事務局企画)
40周年記念号への執筆のお願い 井野 修二
支部だより／事務局だより
◆上州文化 群馬県教育文化事業団
〒371-0801群馬県前橋市文京町2-20-22
TEL027-224-3960 1980年創刊
www.gunmabunkazigyodan.or.jp
◇131 2012.8 A4 14p
巻頭言 文化の源 福島 金夫

ぐんまミュージアム散歩(3) 水
と緑と詩のまち 前橋文学館 桑原 高良
上野東歌探訪 北川 和秀
群馬県教育文化事業団
INFORMATION
地域文化をつなぐ
民謡に魅せられて 木下 進
ART NOW 私が絵を描くこと 矢島なるえ
自然環境調査からみた群馬の湿原
と植物 大峰沼湿原 片野 光一
◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
板橋春夫方 1979年創刊
◇131 2012.9 B5 4p
中近世の架橋観
一渡河点寺院と橋供養 築瀬 大輔
カメムシと大雪一気象民俗の一例
板橋 春夫
第31回講演会の記録／2012年度総
会の記録／会員異動
◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方
TEL049-281-4983 年4000円 1929年創刊
◇310 (59-2) 2012.7 A5 46p
熊谷市須賀広陣屋について 高柳 茂
神川町南塚原古墳群採集の埴輪 富田 靖雄
平柳社幽峰遺文からの「月次句
合」考(2)一肥留間幽峯と「鳩
車連」の俳人たち 岡田 博
近世武蔵国里修験十玉院(下) 高橋 一
唐澤放水路記念碑に秘められた歴
史 荻野 勝正
資料紹介 川越・喜多町の古文書
奥田 豊
表紙写真解説 嘉暦三年阿弥陀三
尊板碑断片(川越市菅間円光寺)

口絵写真解説 渋沢平九郎首骸受
取証書（渋沢史料館所蔵）
受贈図書紹介
第631回 入間市博物館見学
第632回 公開講演会
第633回 神奈川県立金沢文庫見学
第634回 定時総会・記念講演

◆埼玉地方史 埼玉県地方研究会
〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18
埼玉県立文書館内 TEL048-865-0112
年3000円 1975年創刊
◇65 2011.12 A5 42p
幕末期の改革組合村運営と大惣代
一武蔵国熊谷宿北組合を事例に
藤井 明広
研究ノート 久喜高女に見る疎開
生徒の受入れ 柏浦 勝良
史料紹介 丸山家所蔵「足利成氏
書状」について 小要 博
第52回研究発表会要旨
皇国地誌編輯期の「好古家」た
ちの活動 重田 正夫
埼玉県行政文書一記録認識の近
現代と重要文化財指定 太田 富康
地域研究発表大会要旨
後北条氏の伝馬制の展開につい
て 松村 憲治
鎌倉幕府の政所と武蔵国務 菊池 紳一
第53回研究発表会要旨 吉田市右
衛門の上納金と奈良堰用水組合
榎本 博

◆東京湾学会誌 東京湾の水土
〒270-0198千葉県流山市駒木474 江戸川
大学社会学部現代社会学科 高橋克研究室
年5000円 1998年創刊
◇16 (3-4) 2011.3 B5 46p

沼田武会長を偲んで 高橋 克
沼田武会長を偲んで 中村 俊彦
「沼田武さん」よもやま話 大胡 勝
沼田会長の御逝去を悼む 鈴木 仲秋
沼田知事有難うございました 深野 弘子
君津製鐵所の歩み 夏目 大介
千葉県の里海の漁業とくらし(3) 川名 興
東京湾だより

◆房総石造文化財研究会会報
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方 TEL04-7196-3375
年3000円 1980年創刊
◇114 2012.7 B5 12p
24年度定期総会終わる／石仏入門
講座のお知らせ／研修バス旅行
について
初夏の石仏見学会
松戸市馬橋の石仏を見る (石田)
調査概報
永祿銘六地藏庚申塔の出現 早川 正司
松戸の石仏(3)
慶安三年庚申塔三猿の不思議 入谷 雄二
佐倉周辺の杜日塔(3) 田中 征志
東総の民俗 (石田)

◆房総の石仏 房総石造文化財研究会
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方 TEL04-7196-3375
年3000円 1982年創刊
◇22 2012.7 B5 101p
生祠・石見塔と小金牧周辺の山神
塔 石田 年子
十二仏を刻む石造遺品について 川戸 彰
多古町東禅寺五輪塔調査報告 斎木 勝
石造物からみる近世物流の一端
一木更津周辺の事例 稲木 章宏
北総の子安像塔一江戸時代末期か

ら現代までの様相について 蔵 由美
神保領十三ヵ寺千部講における水
難横死供養塔の造立 木原 律子
館山市千手院の石造千手三尊につ
いて 早川 正司
石造物を読む 米谷 博

◆赤米ニュース 東京赤米研究会
〒186-0005東京都国立市西3-7-29 アゼリ
ア国立Ⅱ101 長沢方 TEL042-577-6855
◇185 2012.8 B5 8p
2012年版赤米栽培マニュアル
8月の赤米作り
おしらせ／おたより
大分県のとうほし田・たいとう田
菅野 郁雄
赤米雑話(141)
81 石川県の赤米・つづき 長沢 利明
◇186 2012.9 B5 8p
2012年版赤米栽培マニュアル
9月の赤米作り
おしらせ／おたより
宮崎県のとうほし田・たいとう田
菅野 郁雄
赤米雑話(142)
81 石川県の赤米・つづき 長沢 利明

◆あしなか 山村民俗の会
〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17
サトービル TEL03-5663-6748
年5000円 1939年創刊
www8.ocn.ne.jp/~sanmin/
◇295・296 2012.8 B5 44p
《特集 石仏と民俗伝承
一心ときめく路傍の石たちとの出会い》
表紙解説 「おき／くに・あごなし
地藏」石像（徳島県東祖谷） 編集 室
阿波の地藏仏と庚申塔 橘 禎男

ゆうげん地藏と新七さま一土佐佐
川町・石ぶみにまつわる譚 岩田 英彬
コラム・採訪余滴 道祖大神と道
祖神一北杜市長坂 平出 一治
木曾・開田村の馬頭観世音さま 脇田 雅彦
八ヶ岳山麓の橋供養塔一甲信国境
平出 一治
明野の石造物一山梨県北杜市 井上 明生
茅ヶ崎市小和田の生態道祖神一ド
イツ本『Sexualia』への紹介 小海 敏雄
十文字峠越えと一里観音
一武州栃木から信州梓山へ 松家 晋
天明大飢饉と秩父の石仏 飯野 頼治
下名栗の仙元庚申一奥武蔵小沢・
富士行者周辺を歩く(前) 岡倉 捷郎
上州の石祠と騎馬遊牧民族 鷲頭 隆
桐ノ城山の石仏と石尊様
一西上州神流町 田中 雅史
出羽三山石仏巡り
一羽黒山・月山・湯殿山 山崎 進
草木供養塔の話一米沢市田沢にそ
のルーツを訪ねる 杉崎満寿雄
山里だより(17) こうりゃん今
昔話一丹波美山から 西浦 左門
旅の草ぐさ(11) 相模・日向薬師
の修験行事を見る一現地探索 鳳氣至一廣
会員著書／現地探索行事案内

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇534 2012.8 A4 4p
復元都営住宅のモノ語り(8) 区
制80周年記念企画展「タイムス
リップ 昭和家電一増田健一コ
レクション一」開催します！
6月28日(火)から10月8日(月祝)

郷土博物館

寺院調査レポート(3) 本木吉祥
院弁才天坐像一元禄生まれの華
麗な弁天さま 小野 英二

東京東郊の映画館(2)―都市化の
あゆみと映画館の分布 豊田 啓孝

企画展「タイムスリップ 昭和家
電」関連のお知らせ

◇535 2012.9 A4 4p
縁故疎開で過ごした北鹿浜の想い
出(1) 小川誠一郎

寺院調査レポート(4) 善久寺 聖
徳太子像―足立に残る彫刻家
森鳳声の作品 大島 幸代

大般若の村巡り
―花畑地区を例として 鈴木 志乃

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇293 2012.8 A4 8p
区制80周年にふさわしい研究発表
郷土史研究に新たな光を
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(126) 新教育指針 第
一部 後編 新日本教育の原点
第七章 勤労教育の革新 堀川 和夫

足立史談カルタ紹介
「つ」堤築いた石出掃部
区民教養講座
足立区の登録文化財を観る 有形
文化財(書跡) 扁額「久栄山」
1面／扁額「潤江山」1面
夏の終わりに 赤田 直繁
廃棄物の中に板碑あり (矢沢)

東京電機大学同窓会・千住キャン
パス開校記念講演 東京電機大
学を迎えた千住の郷土史的考察

安藤 義雄

◇294 2012.9 A4 8p
荒川堤はどこだ? 熊谷街道はどこ
だ? 五色桜はどんな木だ? ど
こにも書いてない謎
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(127) 新教育指針 第
一部 後編 新日本教育の原点
第七章 勤労教育の革新 二、
新しい勤労はどのようなもので
あるべきか 堀川 和夫

足立史談カルタ紹介
「ね」葱は名物千住葱
からめきの瀬 赤田 直繁

区民研究発表会
荒川堤櫻花暦 附観櫻道案内／
「荒川堤上栽櫻原簿寫」／「北米
合衆国ニ送附スベキ櫻苗養成概
況」

◆あるむぜお
府中市文化振興財団 府中市郷土の森博物
館 〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1987年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

◇101 2012.9 A4 8p
年中行事の現在 in 府中(2)
お月見 佐藤 智敬

展示会案内
企画展 家の神さま仏さま 佐藤 智敬

NOTE 「霞ノ関」の伝承
―平将門と東山道武蔵路 小野 一之

知る人ぞ知る! 府中ゆかりの人物
(6) 由木左衛門景盛 馬場 治子

最近の発掘調査 相模国のひと
武蔵国府のはずれに眠る 本宿
町二丁目 荒井 健治
町にまつわる雑学講座―多磨町 佐藤 智敬

◆板橋史談 板橋史談会
〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
TEL03-5398-2682 1966年創刊

◇271 2012.7 A5 37p
旧蓮沼村の石祠と廃寺金剛院を追
って 井上 富夫
聞き書き 初年兵の六百日(1) 泉 貞代
ひろば
手島崇雄先生をしのぶ 鈴木 昭大
太宰治と板橋 猪瀬 尚志

史談会のあゆみ(4月・5月)／短報
受贈図書目録(5月・6月) 事務局

◇272 2012.9 A5 29p
向原の昔(1) 向原の石造物 三原寿太郎
聞き書き 初年兵の六百日(2) 泉 貞代
東武東上線「T J ライナー」乗車
記 猪瀬 尚志

史談会のあゆみ(6月・7月)／短報
受贈図書目録(7月・8月) 事務局

◆季刊 Collegio 之 潮
〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505
TEL042-328-1503 2005年創刊
www.collegio.jp

◇49 2012.7 B6 72p 300円
ベリ―艦隊が見た地形(7)
横浜周辺(3) 松田 磐余
Tokyo Stream(2) 甲斐啓二郎
フランス古地図音楽散歩(31)
マザリーヌ通り 関根 敏子

小形図紹介(12) 出羽米沢城下
上杉両公御神祭略図 山下 和正

東京電車線路物語(26)
車両の色(1) 井口 悦男
「南野」か「成瀬が丘」か 田中 正大
はじめての古地図展 清水 靖夫
縄文遺跡と地形
八王子市神谷原遺跡 安孫子昭二

「帝都復興事業」にみる都市改造
―道路・橋梁・運河(4) 菅原 健二

ロシア人が語る地球発見物語―
『学習参考書地理学的発見の歴
史』について(9) 佐々木路子

◆北区史を考える会会報
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10 大澤
栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊

◇105 2012.8 B5 8p
寄稿 災害に強くなる 馬場 永子
第353回史跡研究会 5月7日(水)
古くて新しい府中市
国府遺跡と古墳めぐり 芦田正次郎

第354回史跡研究会 6月1日(土)
田中家煉瓦工場跡見学 八木 司郎

第355回講演会 6月24日(日)
江北の五色桜
―過去・現在、そして未来 鈴木 誠

第356回史跡研究会 7月8日(日)
石神井公園ふるさと文化館 林 健一

寄稿 王子の町起こしを考える・
その2「王子駅まわりの観光路
整備を考える」 高木 基雄

◆近世史藁 近世村落史研究会
〒167-0042東京都杉並区西荻北4-5-2
森安彦方 TEL03-3399-1615 1975年創刊

◇6 2012.8 B5 125p
《故山中清孝氏追悼号》
幕藩制崩壊期における武州世直し
―一揆の歴史的意義 山中 清孝
山中清孝さんを偲ぶ 森 安彦
故山中清孝氏の研究業績目録 森 安彦
高校歴史教科書の部落史記述瞥見
斎藤 洋一

後北条氏治下の修験 千代田恵汎
幕末期における評定所「論所地改

出役」の裁許について—武州比企郡玉川郷・鎌形村と竹本村境入会争論を中心に 大館 右喜
幕末維新の博徒小川の幸蔵—明治三年八月 武州多摩郡小川村当時無宿幸蔵事件留記 森 安彦
代官頭発給文書の追加史料の紹介 和泉 清司
慶応二年世直し一揆と村方の対応—上州甘楽郡譲原村「打毀差留人足并諸入用控帳」の紹介 佐藤 孝之

◆交通史研究

交通史学会（発売：吉川弘文館）
〒365-0023埼玉県鴻巣市笠原1435-1
波田野富信気付 1976年創刊
www.kotsushi.org
◇77 2012.4 A5 68p
《山本弘文先生追悼号》
巻頭写真 山本弘文先生追悼・山本弘文先生
紙碑 山本弘文先生の御逝去を悼む 丸山 雍成
山本弘文先生を偲んで 増田 廣實
山本弘文元会長の思い出 村上 直
山本弘文先生の業績に寄せて・山本弘文先生業績目録 老川 慶喜
近代日本における欧米向け薩摩焼の輸出 今給黎佳葉
大宰府の内なる道と外なる道—古代における交通網とその変遷について 小野鹿 亮
編集委員会について 編集委員会
新刊紹介 星名定雄著『イギリス郵便史 文献散策』 山根 伸洋

◆品川歴史館紀要 品川区立品川歴史館
〒140-0014東京都品川区大井6-11-1

TEL03-3777-4060 1986年創刊
◇27 2012.3 B5 154p
『品川歴史館紀要』の意義 佐藤 成順
《特集 特別展「品川御台場」》
特別展『品川御台場—幕末期江戸湾防備の拠点—』とその展示図録 梶 輝行
「品川御台場」展に寄せて—佐賀から見た江戸湾防備と品川御台場 本多 美穂
品川御台場のこれから—調査と保存・活用のはざまから 大八木謙司
特別展「品川御台場」記念シンポジウム「幕末期江戸湾防備の拠点・品川御台場を考える」参加の記 高久 智広
特別展「品川御台場—幕末期江戸湾防備の拠点—」の成果と課題—内容の補足と記念シンポジウムの実施 富川 武史
十三代将軍徳川家定の品川御成における御台場御普請御用掛の役割—「内海沓番御台場御成之節の一件」の分析から 富川 武史
明治初年外国人の品川通行について 中元 幸二
品川における近世以前の梵鐘 本間 岳人
発掘された品川区の大名屋敷 中野 光将
七条仏師二十七代康伝に関する一考察 湯本 幸子

◆城郭だより 日本城郭史学会会報
〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私書箱50号 1993年創刊
◇78 2012.7 A4 6p
窓が消えた江戸城大手門—震災の修復により消失
飛騨松倉城石垣をめぐる

—飛騨の戦国山城の石垣から 西ヶ谷恭弘
天正10年の高遠城攻の陣城遺構
織田信忠の陣城を発掘調査—長野県伊那市富県貝沼に所在
最近の城郭ニュースから 池上曾根遺跡に環濠外土塁／中畑城より畝堀出土(岩手県)／三河湾篠島から名古屋築城の石切丁場が確認／肥前小城藩代官所の石垣
最近の注目される城郭関係図書から 京都府教育委員会『京都府中世城館跡調査報告Ⅰ』、竹井英文著『織豊政権と東国社会』、野中 and 和夫編著『江戸の水道』、石川県教育委員会『城郭石垣の技術と組織を探る』
各地の城郭研究会活動から／平成24年度総会・大会から／好評頒布中の報告書・出版物

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/
◇234 2012.7 A4 10p 400円
貞治元年檀那願文考 菅野 郁雄
平成23年度文化財 有形文化財（彫刻）天和二年銘手水鉢 光明院／有形文化財（古文書）星野家文書 郷土博物館／有形文化財（考古資料）高井戸東遺跡出土の旧石器 郷土博物館
新入会員の皆さん
平成23年度 杉並郷土史会 収支決算報告／平成23年度 事業報告
雲流るる果に 須永万里子
歴史のなかの杉並の梵鐘

総会を終えて 新村 康敏
妙法寺土蔵跡 発掘調査
本の紹介 戦国期の奥州白川氏菅野郁雄著
風 東日本復興勸進今申樂／行事予告
◇235 2012.9 A4 8p 400円
安政江戸大地震が残したもの—鯉絵と世直し 真板 道夫
第473回例会記 安政江戸大地震が残したもの—鯉絵と世直し 真坂道夫先生 片山 恒雄
都市近郊村の諸問題(4)
—武蔵国豊嶋郡角管村 速水 融
妙正寺 三十番神 葵の紋幕 伊東 勝
私の本棚から(45)「新釈 平家物語」高木武著 東京修文館 横尾 信彦
行事予告

◆せたかい 世田谷区誌研究会
〒154-0024東京都世田谷区三軒茶屋1-5-6
横山精太郎方 TEL03-3421-7692
年2000円 1951年創刊
fsv.setagaya-kushiken.jp
◇64 2012.7 B5 93p 1000円
会長交代 定時総会で承認
会長就任の御挨拶 横山精太郎
定時総会特別講演記録 世田谷区誌研究会20年を振り返って
前会長下山照夫氏 編集部
寄稿
三軒茶屋を記録する会(6) 瀬村 進
駒沢小学校と品川用水 秋山清太郎
大東京市と世田谷区 小泉 三郎
九品佛浄眞寺「おめんかぶり」 黒瀬 威
世田谷線 沿線各駅散歩道
(三軒茶屋・西太子堂) 中村 甲
世田谷区誌研究会23年度の記録

(講演会、見学会)
 バス見学会「富岡製糸場、城下町小幡」 遠藤 智
 講演会「昭和史の教訓」(保阪正康氏・ノンフィクション作家) 編集部
 講演会「昭和史前期と戦争」(下山照夫氏・前世田谷区誌研究会会長) 市川 博正
 城南郷土史研究協議会主催史跡散策「六郷用水公園と堀跡の散歩道」 高木 良浩
 講演会「世田谷の近代」(濱中正之氏・世田谷区生涯大学専任講師) 新川 陽一
 バス見学会「成田山新勝寺、佐原伊能忠敬記念館、佐原町並み散策」 内山 昌玄
 午後の史跡散歩「駒澤給水塔、馬事公苑など」 武居 義之
 講演会「石井至穀と世田谷の古文書」(武田庸二郎氏・世田谷区郷土資料館学芸員) 中井 盛久
 世田谷区誌研究会平成23年度会計報告
 世田谷区誌研究会平成24年度予算事務局からのご報告 広報活動実施状況／世田谷区誌研究会会則改訂について

◆戦国史研究

戦国史研究会(発売:吉川弘文館)
 〒113-0033東京都文京区本郷7-2-8
 TEL03-3813-9151 1981年創刊
 ◇64 2012.8 A5 48p 667円
 土佐国における庄屋制の成立 平井 上総
 龍造寺氏の軍事活動と軍事ルート
 の確保 中村 知裕

羅針盤 武田信玄への三通の論旨 遠藤 珠紀
 戦国史関係論文目録(平成23年7月～12月)
 例会記録
 例会報告要旨
 第385例会報告 三州牛久保牧野氏と八幡八幡宮 糟谷 幸裕
 第386例会報告 越後国上田衆の構成と展開―上田長尾氏の領と家中を中心に 片桐 昭彦
 第387例会報告
 天正前期の阿波と諸勢力 中平 景介
 第388例会報告 織田信長「天下布武」印の書札札について 柴辻 俊六
 第389例会報告 信長文書についての覚書―翻刻文書の諸問題 岡田 正人
 第390例会報告 天正二年最上氏内紛にみる最上氏と諸勢力 菅原 義勝

◆全日本郷土芸能協会会報

〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パークハウス赤坂氷川102 TEL03-3583-8290
 年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp
 ◇68 2012.7 A4 24p
 坂本念仏踊 香川県丸亀市
 平成24年度社員総会報告／明治天皇百年祭―郷土芸能奉納／日中国交正常化40周年記念 スーパー夏祭り in 北京2012
 東日本大震災・郷土芸能復興支援のプロジェクト事業 民俗芸能で広がる子どもの世界 第14回
 全国こども民俗芸能大会 第9回伝統文化研修セミナー
 東日本大震災・郷土芸能復興支援のプロジェクト事業 第9回伝

統文化研修セミナー／東日本大震災・郷土芸能復興支援プロジェクト／東日本大震災後の全郷芸と会員の動き
 第15回全国獅子舞フェスティバル 掛川／歌舞伎俳優・歌舞伎音楽研修生募集のお知らせ
 寄稿 韓国・江陵端午祭で躍動した上山獅子舞 小林 賢二
 第22回全国地芝居サミット in やぶ 氷ノ山の麓、農村舞台「葛畑の舞台」(芝居堂)での地芝居サミット／5会場で開催の「地芝居研修会・ワークショップ」のお知らせ
 地芝居三昧(1) 大谷芸能保存会(歌舞伎部会)公演／杵津東町歌舞伎公演 吉澤 昭正
 秋川歌舞伎保存会 創立20周年記念祝賀会報告／地芝居公演情報 7月～9月
 地芝居探訪(43) 常盤座歌舞伎／小鹿野歌舞伎・春祭り公演／小鹿野歌舞伎・お天狗様祭り公演／全国子供歌舞伎フェスティバル in 小松／秩父歌舞伎正和会／小原歌舞伎
 地芝居見聞(8) 小原歌舞伎 五月公演 北河 直子
 人形芝居観覧記 ひとみ座乙女文楽 若手公演 北河 直子
 地芝居あれこれ(7) 三番叟とともに 蒲池 卓巳
 祭暦 2012 7月～10月／夏～秋の芸能イベント情報2012
 民俗楽器(44) 電と楽器 山本 宏子
 紙上講座(68) 韓国文化事情を考察する 中坪 功雄

会員紹介 淡路人形座 坂東 千秋
 日本文化厚生農業協同組合連合 小磯 明
 会員情報／郷土芸能なう!!(西嶋一泰)
 BOOK良書紹介 「じゅり馬と辻村女の里(チージ)の研究」徹底肉薄(西角井正大)、「日中における北斗七星信仰の研究」犬鳴山の石碑郡を巡って(城井)

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
 〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
 光田憲雄 TEL03-3307-2146
 www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/

◇242 2012.8 A4 2p 100円
 神田明神・祇園三社と将門塚

◇243 2012.9 A4 2p 100円
 新潟市(旧巻町)所蔵の覗きからくり
 神田明神・祇園三社と将門塚(2)

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0002東京都東大和市湖畔1-913-11
 梶原方 1991年創刊
 tamatiken.web.fc2.com
 ◇104 2012.7 B5 12p
 第21回大会報告 第21回大会「多摩・中世寺院の諸様相」を終えて 梶原 勝
 第21回大会「多摩・中世寺院の諸様相―多摩における中世寺院の機能・役割を考える―」に参加して 高田 賢治
 第21回大会「多摩・中世寺院の諸様相」に参加して 高木まどか
 地域史情報室 武蔵村山市立歴史民俗資料館 特別展「武蔵村山の古墳『真福寺』」／八王子市郷

土博物館 特別展「八王子の府立学校—織染・二商・第四高女—」／福生市郷土資料館 企画展「平和のための戦争史料展」／江戸東京たてもの園 開園20周年記念収蔵品展「武蔵野の歴史と考古学」、稲城市 妙見尊「蛇よりの行事—青ガヤで龍の形の大蛇を作る行事—」

2011年度活動・決算報告
多摩地域史研究会 第78回例会
講演会 戦国の軍隊と合戦／多摩地域史研究会 第79回例会
史跡整備前の国分寺跡を訪ねる

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
www.tamashin.or.jp

◇147 2012.8 A5 134p
《特集 多摩の小川》
多摩の小川 角田 清美
立川断層が造った小川
残堀川と矢川 會田 梢
青柳段丘崖下の小川に生息する魚
や昆虫たち 齊藤有里加
多摩丘陵の谷戸と植物 仙仁 径
木漏れ陽の中の歴史散歩—成木川に沿う小径を散策する 小島みどり
湧泉と緑地が周辺の気温分布に及ぼす影響 東海林隆夫／角田清美
洋風建築への誘い(36)
謎の旧丹波山郵便局 伊藤 龍也
建物随想記(31)
旧丹波山郵便局のナゾ解き 酒井 哲
古文書は語る(34) 秋川流域の村落開発(上)—中村家文書「油平村上給検地帳」より 馬場 憲一

多摩の食文化誌(8)
多摩の手打ちうどん 増田 昭子
多摩のみほとけ(10)
立川市普濟寺 六面石幢 齊藤 経生
本の紹介
武蔵村山市立歴史民俗資料館編『武蔵村山の弥生時代』 及川 良彦
町田市立自由民権資料館編『小島隆蔵「御進発御供日記」一』 清水 裕介
武者小路辰子著『父・実篤の周辺で』 瀧田 浩
まちの情報ハブ・図書館(10)
東久留米市立図書館 上杉ゆりか／岡野知子
清瀬市立図書館 山口 由希
情報ページ

◆地方史研究
地方史研究協議会(発売:岩田書院)
〒111-0032東京都台東区浅草5-33-12F
年6600円 1951年創刊 chihoshi.jp
◇358 (62-4) 2012.8 A5 118p 1143円
《大会特集I
地方史、その先へ—再構築への模索》
会告 2012年度(第63回)大会・総会について
第63回大会を迎えるにあたって 常任委員会／第63回大会実行委員会
〈問題提起〉
四国の地方史・地域史を考える—四国地域史研究連絡協議会の試み 胡 光
信濃史学会の現状と課題 山浦 寿
歴史系施設における地域横断型ネットワークの重要性 松本 洋幸
佐多岬半島の「地方史活動」模索 高嶋 賢二

郷土資料館における「地方史活動」の取組みと課題—北海道江差町の事例 宮原 浩
生きられる歴史／モノごとの歴史 平井 太郎
観光地の中の地域博物館
—日常と非日常の狭間で 保科 智治
「地方史活動」の一拠点として 米澤 英昭
中世惣国復活プロジェクト—ワールドミュージアムの試み 海津 一朗
地方史は理解されていくか?—就実大学吉備地方文化研究所の難問 菊米 一志
『新修彦根市史』(第十巻 景観編)の試み—「市民の市史」をめざして 小林 隆
「低成長時代」の自治体史編さんと地域への役割 中野渡一耕
地方における埋蔵文化財の保存と活用 栗山 葉子
東京都立高校における地域史学習の動向—東京都設定科目「江戸から東京へ」の導入も視野に入れて 加藤 健
博物館と学校、及び小中高等学校間の連携について 深田富佐夫
—歴史系クラブのささやかな活動紹介 風間 洋
漁業史研究からみる環境史研究への展望 高橋 美貴
東日本大震災避難所資料の収集・保存—新潟県長岡市の事例から 田中 洋史
第53回日本史関係卒業論文発表会 特別講座
研究テーマの設定と地域史 上山 和雄
参加記 山脇智佳／西村直亮／岩田愛加 秋山寛行／田中幸加／手塚雄太

日本アーカイブズ学会2012年度大会参加記 太田 尚宏
群馬県地域文化研究協議会の大会「地方史研究の最前線パートII—群馬の中世史—」に参加して 朝倉 直美
文化財石垣への関心と石垣技術史の最前線—シンポジウム「城郭石垣の技術と組織を探る」の成果から 木越 隆三
書評 地方史研究協議会 第61回(成田)大会成果論集『北総地域の水辺と台地—生活空間の歴史的変容—』 酒井 右二
研究例会報告要旨
2011年12月2日例会報告
地方史研究と歴史教育 藤野 敦
2012年2月18日
第62回(庄内)大会総括例会
第62回大会をふりかえって 大寫 聖子
行政として庄内大会の運営に参加して 井上 崇
2012年3月21日 例会報告
近代における報徳結社の活動と展開—神奈川県西部の事例を中心に 坂井 飛鳥

◆調布市郷土博物館だより
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2
TEL042-481-7656 1978年創刊
◇73 2012.7 A4 8p
二十年間回り続けた水車館の水車をリニューアル 関口 宣明
聞き書き 下石原中宿の念仏講中 金井 安子
調布の昼職(秋輪畳店) 高野 千尋
平成20年度事業報告／平成21年度事業報告

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火
止4-8-43 柚須紘一方 FAX03-3964-8548
tias3.web.fc2.com

◇95 2012.7 A4 6p

保存が決まった高梁市立吹屋小学
校 小西 伸彦
お知らせ「金子六郎オーラルヒ
ストリー」DVDの頒布につい
て

博物館シリーズ(8) 日本初のラ
ジオ放送用 大電力送信管 小野田良智
新入会員紹介／予告 12月8日(土)
映像作品上映会「桂俊太郎氏の
映像を見る会(仮題)」
報告 産業考古学基礎講座一建
築・土木に関する産業遺産を理
解するために一第3回 堀内 仁之
新刊紹介

『群馬の再発見一地域文化とそ
れを支えた産業・人と思想』
(2012年3月、高崎経済大学地
域政策研究センター編、上毛
新聞社事業局出版部発行) 多田 統一
『音声・映像記録メディアの保
存と修復』(東京文化財研究
所、2012年3月) 平井 東幸
報告 上野・日暮里・三河島地区
の鉄道遺産を歩く 柚須 紘一
2012年度第2回理事会の議事概要
／2012年度第3回理事会の議事
概要

茨城県土浦市の赤煉瓦建築物(9)
その他の赤煉瓦造(4) 八木 司郎

◇96 2012.9 A4 6p

菅野充先生を偲んで 山下 甫
関連団体情報

博物館シリーズ(9) 日本初の液体
燃料ロケットエンジン LE-5 小野田良智
会員著書紹介『はくたちの野田
争議』石井一彦著 嵩書房出版
ふるさと文庫 馬場 永子
講座紹介「講座 千葉県の産業
遺産とその活用を考える」(主
催：千葉県立現代産業科学館)
／短信／新刊紹介『東京レス
タウロ 歴史を活かす建築再
生』

報告 講演会 東京砲兵工廠内の
軽便鉄道とその図面 柚須 紘一
報告 見学会 医療器具を通して
みた医学の歩み 多田 統一
2012年度 第4回理事会の議事概要
茨城県土浦市の赤煉瓦建築物(10)
その他の赤煉瓦造(5) 八木 司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4 (財)政治
経済研究所 TEL03-5857-5631 2002年創刊
www.tokyo-sensai.net

◇21 2012.7 A4 8p

ハロラン氏のこと、そして 早乙女勝元
東京大空襲・戦災資料センター開
館10年 東京大空襲を語り継ぐ
つどい「3.11」とつながって、
いのちの重み心に刻む 高岡 岑郷
平和像とともに 岡安 みほ
戦災資料センターで体験を語って
上原 淳子

小冊子『戦災資料センターから東
京大空襲を歩く』改訂新版がで
きました
語り継ぐ 橋本代志子さんの体験
を聞いて 琴浦町立東伯中学校
(鳥取県)から／都立工芸高校の

卒業制作で戦災資料センターの
ポスターをつくる／体験者の絵
をみて 感想文・感想ノートか
ら
その町の戦跡 羅漢寺の墓地内の
お地藏様と境内の地藏尊 江東
区大島3-1-8 小保方貞夫
東京大空襲訴訟、東京高裁不当判
決 原告79人が最高裁へ上告
国会議員連盟は法制化へ向けて
／「死んでもプレストを」前進
座が朗読劇化し上演 高岡 岑郷
下町空襲から北部・山の手・多摩
地域の空襲へ 証言映像プロジ
ェクト 山本 唯人
研究プロジェクトの動き
一戦争災害研究室から
東京・大阪の体験者や市民がドレ
スデンなどの都市を訪れました
一来年2月から特別展を開催し
ます 山本 唯人
感想ノートから

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
1956年創刊

◇340 2012.7 A4 4p

豊島氏関係史料を読む(15) 戦国
期宮城氏の位置と太田氏(4) 伊藤 一美
東京市養育院と彼のひとびと(後
篇2)一児玉花外・島崎こま子・
長谷川利行・物集高量 日向康三郎
「練馬」「のりぬま」地名を考える
(3) 葛城 明彦

◇341 2012.9 A4 4p

江戸にもあった思案橋 河勝 大
練馬の城を往く(5)

練馬城(続きの2) 八巻 孝夫
昭和史雑感 昭和天皇と将軍達
(15) 真崎甚三郎(12) 鎌田 茂男

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264
年2500円 1987年創刊

◇100 2012.8 B5 6p

《100号記念号》
会報百号に想うこと 後藤 光
記念特集 地名にしひがし
広域編
地名「お茶の水」 正井 泰夫
故郷の地名から思うこと 土屋 正孝
淀橋の家 中村 幸子
名字編
東京の谷(タニ)地名 谷治 正孝
須賀神社の祭神と名前の由来
須賀 頼子

地域編
下石神井村「さんさい地名」
を追って 長坂 淳子
広沢原をめぐって 徳川 達子
下屋敷 石川 敦子
お浜井戸と渋川義鏡 沖野 一則
中新井村と千川上水 飯塚 芳男
馬喰ヶ谷戸一地名の助詞ノと
ガ あれこれ 下島 邦夫
平成24年度総会

◆練馬古文書研究会会報

〒177-0053東京都練馬区関町南4-15-3-603
鈴木方 TEL03-3920-3627 1985年創刊
www.7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/

◇48 2012.7 B5 4p

講演録
民話から繙く江戸期の小樽村 鈴木 義範

俳聖芭蕉の去来宛消息 栗山 格彰
事務局通信 鈴木 義範

◆PRISM

立教大学共生社会センターニューズレター
〒171-8501東京都豊島区西池袋3-34-1
TEL03-3985-4457
www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/RCCCS

◇3 2012.8 A4 4p

埼玉大学共生社会教育研究センター
からの資料移管を完了しました

立教大学共生社会研究センター主催
講演会「原発訴訟のトップラ
ンナーとして一伊方反原発訴訟
弁護団長・藤田一良さんが語る
一」参加記 船津かおり
自己紹介

小山莊太郎／佐々木真依子／高橋賢吾
立教大学共生社会研究センター公
開講演会「問いつづけた原子力
一雑誌『技術と人間』残したもの」

◆法政人類学

法政大学人類学研究会
〒186-0005東京都国立市西3-7-29
アゼリア国立Ⅱ101 長沢方
◇86 2001.3 B5 19p

沖縄県における観光資源エイサー
の現状(上) 高木 正
山本悦男さんを偲ぶ 長沢 利明
ゼミ通信No.94

◇87 2001.6 B5 19p
沖縄県における観光資源エイサー
の現状(下) 高木 正
アミ族の成年式
一1994年夏の記録(10) 長沢 利明

ゼミ通信No.95
◇88 2001.9 B5 19p
鼻のフォークロア
一匂いをめぐる説話と伝承 小池 淳一
アミ族の成年式
一1994年夏の記録(11) 長沢 利明
ゼミ通信No.96
◇89 2001.12 B5 19p
ケニアにおける民族意識と国民形
成一その歴史地理的考察(1) 河野 香
ゼミ通信No.97

◆文化財ニュース

〒100-0012東京都千代田区日比谷公園1-4
千代田区立日比谷図書文化館
TEL03-3502-3348 hibital.jp/bunkazai/

◇1 2012.3 A4 8p
旧四番町歴史民俗資料館から日比
谷図書文化館へ
特集 平成24年度指定文化財紹介
震災記念の碑 1基／井澤彌兵衛
墓碑 1基 高木 知己

区内文化財調査
石造物のもつ情報 小山 貴子
埋文ニュース
文化財が語る地震被害 後藤 宏樹
親子体験教室
「縄文土器作り」について 水本 和美

平成23年度 文化財特別展こぼれ
ばなし 岩佐純と一番町「武林
写真館」／和泉屋垣見家 滝口 正哉
平成24年度 文化財企画展「戦後
の東京一復興・発展一」(仮)
平成24年7月17日(火)～9月2日
(日)

◇2 2012.7 A4 8p
「空襲」昭和20年(1945)
特集 文化財企画展「戦後の東京

一復興・発展一」東京オリン
ピック／道路整備と交通の変化
高木 知己

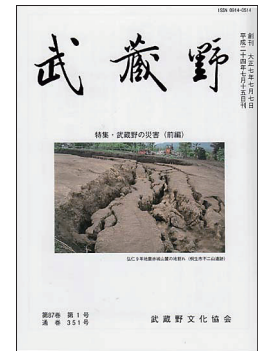
埋文ニュース
千鳥ヶ淵戦没者墓苑の発掘 斎藤 一真
神田の記憶・榎稻荷と元徳稻荷 滝口 正哉
追悼 吉原健一郎先生 滝口 正哉
平成24年度文化財企画展「東京一
その復興の歴史一」展示図録
販売のご案内、平成24年度文化
財企画展「東京一その復興の歴
史一」関連講座のご案内

◆武蔵野 武蔵野文化協会
〒362-0011埼玉県上尾市平塚976-5
加藤方 武蔵野頒布会 TEL048-775-6918
年4000円 1918年創刊

◇351 (87-1) 2012.7 A5 90p
《特集 武蔵野の災害(前編)》
特集「武蔵野の災害」に寄せて 坂詰 秀一
立川断層一未だ解けていないその
活断層像 東郷 正美
多摩ニュータウンNo.211遺跡にみ
られる噴砂脈について 上條 朝宏
遺跡・遺物から見た北関東の災害
について 能登 健
元慶二年の地震と武蔵国分寺 坂詰 秀一
富士山宝永噴火とそれに伴う降灰
災害 小山 真人
宝永の富士山噴火と府中に降った
火山灰 英 太郎
天明三年浅間山の噴火と鎌原村の
発掘一災害考古学の幕開け 松島 榮治
古代武蔵野の災害年表 三橋 広延
『発心集』にみる武蔵野の災害一
入間川の洪水と河越氏館につい
て 加藤 功
中世都市鎌倉の大災害

一大仏殿倒壊を中心に 八幡 義信
弘化期川越藩の川島領大岡堤普請
(上) 黒須 茂
甕島探訪 小川氏の故郷を訪ねて
小川 一義

本会会長坂詰秀一先生 瑞宝中綬
章を授与！
平成23年度総会報告／例会報告



*今注目されている立川断層、宝永の富士山
噴火と天明の浅間山噴火による被害、関東大
震災など、有史以来大きな震災を経験してき
ている武蔵野地域において、この時期に災害
特集を組むことの意義は大きい。会長の坂詰
秀一氏は、特集に寄せて、「災害史の共有こ
そ現在に生きる私達にとって必要不可欠であ
り、より多くの人達が本会が目標としている
武蔵野の地の自然災害の歴史を発信していく
ことが肝要である」と述べている。全くその
とおりだと思う。平成24年2月には、「武蔵野
の災害」をテーマに公開講座を開催し、関東
大震災と復興計画や、考古学における北関東
の自然災害、江戸を中心とした17～19世紀の
自然災害について論じ合った。本特集はその
趣旨を敷衍する形で、本号と次号を使い、自
然と人文分野、古代から近現代、自然災害か
ら戦争まで、また、講演会の内容や、東日本
大震災でのボランティア活動報告も含めた巨

視的な特集となった。立川断層については、既成の観念を捨て、原点に立ち戻って見直すことの必要性が強く主張される。鴨長明の『発心集』が、鎌倉時代の武蔵入間川洪水を記録する重要史料であることなど、いずれも読み応えがある。

◆武蔵保谷村だより 高橋文太郎の『武蔵保谷村郷土資料』を手掛かりに
下保谷の自然と文化を語る会
〒202-0004東京都西東京市下保谷3-18-3
高田賢方 TEL042-478-3820 2011年創刊

◇6 2012.7 A4 20p
K Y Kとエチオピア皇太子―アチ
ックミュージアム同人たちの連
名 小林光一郎
自然と生きる 西東京市の主な屋
敷林(5) 東町・富士町 小川 武廣
民俗学と青春 国立民族学博物館
展示資料調査の思い出 高濱 劭
西武鉄道と武蔵野鉄道―E11型電
気機関車公開に寄せて 藤本 均
昔語り 加藤正男さん
―下保谷の農家に生まれて 萩原 恵子
清水建設社宅の集会所の解体と古
材の引き取り―私たちの「武蔵
野の民家」は次の段階に(萩原
記)／ミニ写真展「保谷に鉄道
がやってきた!」―西武鉄道100
周年 アニバーサリーイベント
in 保谷に参加しました(亀田記)
資料 泉靖一著『遙かな山やま』
新潮社(10～13p)
Columu 鎮守様の白い龍 亀田 直美

◆論集きんせい 近世史研究会
〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1
東京大学文学部日本史学研究室気付

TEL03-3812-2111 1978年創刊
◇34 2012.5 B5 90p
《特集 21世紀の近世史研究
―吉田伸之氏の業績に学ぶ》
特集にあたって
商人と流通の近世 牧原 成征
身分(制)社会論・身分的周縁論の
諸課題 小野 将
“地域史の実践”と近世史研究 多和田雅保
「城下町の展開序列」論・「分節構
造」論をめぐる 岩淵 令治
吉田伸之氏からのリプライ
史料紹介 「順立帳目録」(1) 若山 太良
近世史研究会活動報告

◆小田原史談 小田原史談会
〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方 TEL0465-34-8363
年3000円 1961年創刊
odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇230 2012.7 B5 28p
谷崎潤一郎と佐藤春夫にまつわる
人々 岸 達志
谷崎と春夫を爺と呼ぶ人 青木 良一
竹田長男さんの小田原
竹田長男さんに聞く
早川かめや旅館と谷崎先生 加藤 孝子
小田原の海と谷崎潤一郎 (松島)
小田原の郷土史再発見 嘉永小田
原地震と東海地震の津波 石井 啓文
旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝
根府川関所と水鳥屋
―関所を越える話 中村 静夫
小田原藩浅田兄弟の敵討
『孝貞義鑑』散策(13) 鈴木 好
小田原の老舗 富澤時計店
初代は小田原藩の御時計師 富澤 雅夫
遠江方面史跡めぐり 河合多美江

江戸時代の小田原宿を訪ねて (松島)
平成24年度総会講演要旨
郷土史再発見 よもやま話 石井 啓文
平成24年度 総会報告 小田原史談会

◆かながわの民俗芸能
神奈川県民俗芸能保存協会
〒252-0312神奈川県相模原市南区相南2-6-
37 TEL042-745-7478 年1500円
◇76 2012.3 A4 22p
会長挨拶 新たな展開を目指して 石井 一躬
きらめくふるさと2011かながわ民
俗芸能祭特集
2011かながわ民俗芸能祭出演の
感想 稲葉親太郎
下九沢獅子舞・2011かながわ民
俗芸能祭に参加して 小川 光一
かながわ民俗芸能祭に参加して 鈴木 茂
田祭りを振り返って 今泉 唯
神奈川県民俗芸能保存協会の中
における沖縄芸能 長島 清子
舞台そでから 丹下 一
2011かながわ民俗芸能祭を見て 城所 恵子

平成23年度神奈川県民俗芸能保存
協会表彰式
表彰をいただいて 榎本 重蔵
「伝統を継承する心」表彰状を
いただいて 塩川 一美
協会表彰を受けて 瀬戸 文子
表彰をいただいて 鈴木 宏江
民俗芸能散歩
山北のお峯入り 岩本 章治
見学会参加記
平成23年度の見学会 松岡 敬介
保存会だより

小田原板橋地域の小田原囃子と
相模人形芝居の共演について 三上 芳範
神奈川フィルとの共演を終えて 加藤美津枝
会員だより
日向薬師の神木登り 祖父川精治
三浦市三戸の精霊流し 永田 泰祐
郷土芸能・伝承者の「使命」 山田 隆司
大震災から「郷土芸能」を見詰
め直す 関根 訪
浦賀の「お稲荷さん」と「初午
祭」 金子 隆一
神様のいない十二月―神奈川
フィルと相模里神楽に教わっ
たこと 徳山 泰子
平成23年度新規入会団体紹介
入会に際して 小田原市山王原
大漁木遣唄保存会 末広 勝
平成24年度事業計画
見学会・民俗芸能祭のご案内 事務局

◆鎌倉 鎌倉文化研究会
〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2
長谷寺宝物館内 TEL0467-22-6300
1959年創刊
◇113 2012.7 A5 103p 1500円
鎌倉ゆかりの「社寺明細帳図」
―合祀された神社 山地 純
頼朝・流人から私人へ
―源頼朝論の深化のために 伊藤 一美
相州南東部における嘉永・安政期
の地震について―鎌倉方面の諸
相も含めて 浪川 幹夫
余録 鎌倉乃記(8)―与謝野晶子
・寛、そして鎌倉(3) 出版人
たち 坂本 俊雄
『増上寺金地院替地内掛合熟談略

記』 佐藤 清二
『亀谷山記録』(10) 鎌倉古文書研究会
『鹿山公私諸般留帳』(43) 三淵 美恵子
神奈川の窓(30)
―「地方史研究」から 井上 隆男

◆県史談 県史談会
〒243-0033神奈川県厚木市温水342
内藤佳康方 TEL046-247-1751 1961年創刊
◇51 2012.1 A5 101p
戦時下の悲惨な日常生活 千葉 弘
厚木地名再考 柳下 宏行
愛川町の青年学校について 小島 茂平
糟屋村の山口家と相模北部の剣術
について(天然理心流や直心影
流剣術など) 島崎 秀雄
伊勢原市日向地区の史跡めぐり 大平 武之
海老名史跡巡り
龍峰寺(旧清水寺) 荻山 勝重
鎌原観音堂を訪ねて―23年度バス
研修旅行報告 石野 孝
相模原市磯辺地区史跡めぐり 荻田 豊
平成23年度事業報告と役員名簿

◆クロス 常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二 年1000円 1979年創刊
◇130 2012.8 B5 6p
肥料商と地域市場
―民俗芸能の視点から 西海 賢二
家計簿と地域社会―社会生活(1) 張 艶
家計簿と地域社会―食文化(1) 洪 志 承
受贈図書／研究会活動報告

◆自然と文化 平塚市博物館研究報告
〒254-0041神奈川県平塚市浅間町12-41
TEL0463-33-5111 1977年創刊
www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/

◇34 2011.3 A4 52+16p
高麗山(神奈川県中郡大磯町)のこ
け植物 湘南コケの会
2010年の太陽黒点 馬宏道／沢村泰彦
平塚の別荘地時代 島本 千也
米軍のコロネット作戦に対する第
53軍の本土防衛―大磯地区の本
土決戦準備態勢 市原 誠
明治初期の神職をめぐる裁判とそ
の特質―相州六所神社の神主職
をめぐる裁判と神祇官・神奈川
県 早田 旅人
◇35 2012.3 A4 72+18p
神奈川県平塚市沿岸域におけるア
カウミガメ *Caretta caretta* (Linn
aeus, 1758)の上陸産卵および
孵化脱出の記録
倉持卓司／小野谷有加／北
嶋円／矢ヶ崎朋樹／倉持敦
子／豊田陽子／松本典子
平塚市土屋の里山休耕田および屋
敷林のクモ 池田 博明
高麗山(神奈川県中郡大磯町)のこ
け植物(続) 湘南コケの会
相模川かわ発見された鉄製舌長鐘
栗山 雄揮
米軍の日本本土空襲に対する横須
賀海軍警備隊の本土防空―平塚
地区周辺の防空態勢 市原 誠
平成23年(2011年)東北地方太平洋
沖地震における相模平野での地
震被害と微地形との関係
森慎一／家入真理子／芹澤
宣子／篠原憲一／飯田和好
平塚・大磯地域での1923年大正関
東地震の体験記録 森慎一／浜口哲一
2011年の太陽黒点
馬宏道／沢村泰彦／塚田健

近代平塚地域の報徳運動 早田 旅人
◆湘南考古学同好会々報
〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
19-104 寺田兼方 1980年復刊
◇128 2012.8 B5 24p
雑感 小野 笑美
酔龍愚見録(17)
高松塚古墳は誰のもの(12) 澤田大太郎
心の考古学まで(2) 古要 祐慶
“第7回 若手研究者を囲む勉強会”
に参加して 鈴木 祝子
「発掘された日本列島 2012」見学
記 永山 鶴一
「藤沢文化創造の丘をすすめる会」
のその後の活動報告 寺田 兼方
奈良にて 榎本 洋一
グループ活動の出發(1) 寺田 兼方
公式ホームページの開設に向けて
榊原 智之
'11藤沢市・隣接市町考古学関係主
要出版物 伊藤 郭
平成24年度湘南考古学同好会
定例総会の記録 須田 英一
新刊報告書の紹介

◆戦争と民衆
戦時下の小田原地方を記録する会
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方 1980年創刊
◇69 2012.8 A5 12p
聞き取り 国民学校と根府川空襲
について 話し手：西山義之
『地震と戦争の記録』に書かれた
根府川空襲
交流報告 「横浜大空襲祈念の集
い」参加記 矢野 慎一
調査報告

「山縣水道水源池」を訪ねて 香川 芳文
書籍出版のご案内 本会8冊目の
書籍ついに発行『語り伝えよう
小田原の戦争体験』
続・地域で戦争を伝えるものを調
べて(1) 小田原空襲説明板 井上 弘
カンパありがとうございます／聞
き取りをして戦争体験を『戦争
と民衆』に載せたい人を紹介し
てくれませんか

◆扣之帳 扣之帳刊行会
〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方 TEL0465-22-8852
年2500円 2003年創刊
hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/
◇37 2012.9 A5 100p 500円
特集「幻視の画家」二見利節
ふたみ記念館の誕生 坂本 孝也
髓のないものは描くな 森田はじめ
「在らせぬ形を造り成す」
―画家の極めた表現世界 小池 光理
カラー(二見利節)
尊徳今昔談 岸 達志
カトリック箱根教会の思い出 佐宗 欣二
浄明院(於さめ姫) 今川 徳子
酒匂だより「花火」 町田紀美子
ボクの映画館(17) 山田洋次監督
と国民的映画(?)「男はつらい
よ」 平倉 正
桜町仕法はなぜ継続されたのか(2)
尾上 武
歌舞伎を彩った人々(9) 立女形
雀右衛門、芝翫と名脇役又五郎
田中 豊
関白道のホリさん 西田 清三
爺じい日記(2)「赤い半纏」 岡崎 伯
亀右衛門咄(13)

田んぼのお年貢(2) 青木 良一
 始まりの人(5) 最澄(上) 茂木 光春
 新刊紹介
 『貸本屋、古本屋、高野書店』 高野 肇
 おけいのデンマーク遊学日記(1) 山浦 敬子
 映画案内／新九郎ギャラリー

◆藤沢市史研究 (続)藤沢市史編さん委員会
 〒251-0054神奈川県藤沢市朝日町12-6 藤
 沢市文書館 TEL0466-24-0171 1970年創刊
 ◇45 2012.3 A5 63p
 小笠原東陽と三鶯家
 一耕餘塾を振りかえる 高野 修
 戦国期、玉縄城領の神社造営と宮
 大工 下山 治久
 抜刷(訂正版) 文書館歴史講座
 自治体公文書が語る徴兵事務 中村 崇高

◆民具マンスリー
 神奈川大学日本常民文化研究所
 〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
 ◇533 (45-5) 2012.8 A5 24p 350円
 明治の農具絵図(1)
 一明治の農具絵図資料の概要 桂 眞幸
 民具短信
 鶴見川下流域の煉瓦(1) 牧野 秀樹
 アンギンと釜神―滝沢秀一さん
 の生活記録としての民具研究
 佐野 賢治
 アチック・ミュージアムの民具コ
 レクション(33) 柳田國男が収
 集した「七夕馬」(真孤馬) 鈴木 通大
 ◇534 (45-6) 2012.9 A5 24p 350円
 河内地域における「カラサオ」 岡田 清一
 民具短信
 鶴見川下流域の煉瓦(2) 牧野 秀樹
 書籍紹介

『図解案内 日本の民俗』 萩谷 良太

◆悠 久
 鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)
 〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31
 TEL0467-22-0315 1980年第2次創刊
 ◇127 2012.7 A5 112p 680円
 《特集 墨の文化誌》
 口絵 徳川美術館所蔵の唐墨
 エッセイ 子供神主 綿貫 民輔
 鼎談 第一部 墨のあれこれ
 一綿谷正之氏に聞く 綿谷 正之
 鼎談 第二部 墨の色
 綿谷正之／花山院弘匡／吉田茂穂
 墨の起源と歴史 吉田 恵二
 木簡と墨書土器に見る古代の信仰
 笹生 衛
 奈良墨 岡本 彰夫
 コラム 墨の基礎知識 綿谷 基
 口絵解説 徳川美術館の唐墨コレ
 クション 四辻 秀紀
 八幡宮紹介
 八幡神社(長野県佐久市)
 新刊紹介 『プレステップ 神道
 学』阪本是丸・石井研士編、『御
 歌所と国学者』宮本誉士著
 ◇128 2012.8 A5 92p 680円
 《特集 むすひの神信仰》
 口絵 飯田の元締と水引
 エッセイ 三・一―は日本文化の
 価値を問う 小島 美子
 むすひということばとその拡がり
 毛利 正守
 国学者の論じたムスヒ信仰 西岡 和彦
 鎮魂のなかのムスヒとムスビ 渡辺 勝義
 維新期における「造化神」観―門
 脇重綾の造化神論・幽顕論をめ
 ぐって 武田 秀章

宮中祭祀の中のむすひの神 小平 美香
 コラム
 石上神宮の鎮魂祭について 森 正光
 口絵解説 飯田の元締と水引 関島 芳一
 八幡宮紹介
 田井八幡宮(岡山県玉野市田井)
 新刊紹介 『神道と日本人』山村
 明義著、『儀礼と権力 天皇の
 明治維新』ジョン・ブリー著

中 部

◆高志路 新潟県民俗学会
 〒950-2022新潟市西区小針6-29-1 鶴巻武
 則方 TEL025-231-6100 1935年創刊
 www.bsnnnet.co.jp/jiku/minzoku/
 ◇385 2012.9 A5 53p
 おっかなの晩景のフィールド 小島 環禮
 所作による新潟県域の道切り 鶴巻 武則
 小報告集Ⅲ 佐藤 和彦
 有志見学 しねり弁天たたき地藏
 高橋 郁子
 近世文書でよむ東蒲原山間村の生
 活(2) 高清水村の無跡百姓相
 続願い 中村 義隆
 国重要無形文化財越後闘牛開催日
 の習俗 広井 忠男
 追悼 滝沢秀一氏 駒形 彪
 伊藤治子さんを悼む 佐藤 和彦
 白水智編『新・秋山記行』(高志書
 院)一書評 池田 亨
 新潟県民俗学会が第47回柳田賞を
 受賞
 事務局だより

◆良寛だより 全国良寛会会報
 〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
 化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
 1978年創刊

◇137 2012.7 A4 20p
 良寛遺墨解説(95)「属累品」 加藤 惇一
 良寛尊像つれづれ(99) 米治一作
 「子供と手まり」新潟市新通
 「護念寺」檀家総代・栗川氏所蔵
 涌井 茂
 折々の良寛(26) てまりをつく良
 寛のこころの背景 長谷川義明
 第35回全国良寛会 岩室大倉
 薫風にのって全国から友集う 加藤 惇一
 平成23年度会務報告／平成24年度
 会計予算書／平成23年度会計決
 算報告書
 全国良寛会 春の役員会 加藤 惇一
 アオーレ長岡オープン記念展「越
 後のこころ 良寛さんに親しむ
 展」平成24年9月22日(土)～29
 日(土)
 良寛の楷書は、中国楷書の基準を
 超えている(3)―その美は、「1/
 f ゆらぎ」から生まれている 長谷川洋三
 良寛 ホトトギスの詩歌 素描 吉田 福恵
 全国良寛会の中に子供の集いを
 全国の空に天上大風の風が舞い
 上がるのを夢見て 岸本 彰夫
 創立30周年を迎えて 河合 雅子
 橋本幹子さん追悼 歌集『風わた
 りきて』に寄せて 松世 勝久
 トピックス／新刊紹介 『ふるさ
 との夕陽なつかし』

◆とやま民俗 富山民俗の会
 〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民
 俗資料館内 年3000円 1974年創刊
 ◇78 2012.9 A5 31p
 富山の小正月の火祭り―邑町のサ
 イノカミを中心として 石垣 悟
 越中五箇山におけるヤマドリの民

俗 森 俊
八尾町野飼の西国順禮供養塔 平井 一雄
近世末砺波散村の地主手作農家の
食習一苗加村 斉藤家「所帯鏡」
について 佐伯 安一
談話室
聖徳太子の「守屋合戦」絵馬 松山 充宏
民俗の窓・会務報告・文献紹介・
受贈図書

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315富山県砺波市太田1770
尾田武雄方 TEL0763-32-2772
年3000円 1993年創刊
◇41 2012.9 A4 8p
富山県にある福井石工の狛犬 酒井 靖春
越前の珍しい石仏（役行者・蔵王
権現） 北村 市朗
砺波地方の戦没碑について
一特に日露戦争について 尾田 武雄
河濯様 滝本やすし
岩峠寺の普賢菩薩 平井 一雄
例会報告 福井市(市街地～西武
地区)の石仏めぐり 酒井 靖春
北陸石仏の会 第45回例会のご案内
内―旧大門町・小杉町の石仏め
ぐり

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館

〒920-0963金沢市出羽町3-1
TEL076-262-3236 1986年創刊
www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/rekihaku/
◇104 2012.7 A4 6p
夏季特別展「マンダラーチベッ
ト・ネパールの仏たち」 7月
14日(土)～9月2日(日)
夏季特別展「マンダラーチベッ
ト・ネパールの仏たち」

併設企画展 北陸の曼荼羅

7月14日(土)～9月2日(日)

主な刊行物のご案内／催事日録

春季特別展「れきはく特選資料
展―収蔵庫からお宝登場―」、
春季特別展関連イベント「収蔵
庫&建物紹介ツアーへ」、石川
の歴史遺産セミナー「近世初期
の前田家と能登」、春の歴史散
歩「新緑の卯辰山寺院群」／行
事日程(7～9月)

れきはくトリヴィア

加賀藩の大名行列

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113福井市下馬町51-11
福井県立図書館内 TEL0776-33-8860
年3500円 1956年創刊
◇294 (57-1) 2012.8 B5 43p
中・近世における越前狛犬の特徴
と地方進出について 三井 紀生
橋本左内の先見性について 三上 一夫
越前府中龍門寺再考 池田 正男
定府家臣百四十年目の鯖江引越 小不動和明

◆福井県地域史研究 福井県地域史研究会

〒910-0003福井市松本1-30-20 松原信之方
TEL0776-23-7829 1970年創刊
◇13 2012.7 A5 119p
豊臣秀吉と越前の長谷川秀一(東
郷侍従)について 松原 信之
元禄期坂井郡幕府領の代官支配―
『元禄期越前の幕府領大庄屋日
記1・2』によって 藤野 立恵
幕末鯖江藩の藩政改革―間部詮勝
の離伏時代を中心にして 吉田 毅
明治初年における福井藩の藩政機
構 舟澤 茂樹

研究ノート 幕末の福井藩士長谷

部甚平について 本川 幹男
福井県地域史研究会活動記録

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp
◇59 2012.8 A4 4p
第10回飯田市地域史研究会集会
地域と歩む教育の歴史―飯田・
下伊那の学びの場から
刊行案内 飯田市歴史研究所年報
10／下伊那のなかの満洲 聞き
書き報告集10／「胡桃澤盛日記」
第3巻／飯田・上飯田の歴史
上巻・下巻
リレーエッセイ 飯田地域の古代
史研究と系図史料―『飯田・上
飯田の歴史』上巻によせて 田島 公
第19回信毎賞受賞／定例研究会／
地域史講座／飯田アカデミア第
66講座／歴研ゼミナール

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円
◇1011 (60-8) 2012.8 A5 50p 500円
口絵 冷沢の蛇岩 松島 信幸
郷土を編む
郷土が生んだ児童文学者・教育
者宮下正美氏のこと 著者
「山をゆく歌」を中心に 山田 博章
百年前、天龍川を下った英国の
貴公子 英国皇甥、コンノー
ト殿下の下航記録(下) 鎌倉 貞男
市田柿発祥の由来 手塚 勝昭
あすに向かって
野馬追いの郷は再生の道へ… 京谷 則幸

東日本復興 ゆめ パンダ 菅原 康雄
「いまここ」支援活動を!! 小澤 恭子
◇1012 (60-9) 2012.9 A5 50p 500円

口絵 松尾多勢子胸像と歌碑一生
誕二百年記念顕彰事業による 山内 尚巳
資料紹介 「長野県立歴史館」の
下伊那関係資料―文献資料を中
心に 前澤 健
中世、橋北城の幻影を追う(10) 稲井 遥
烈女「不二」についての疑問 城田 尚彦
下伊那郡誌編纂室が発足した頃 神村 透
柳田國男の三兄弟と桃澤茂春 桃澤 匡行
消えていくことばの文化(20)
「オカメス」(メダカ) 井上 伸児
命拾いした文化財(1)―一大鹿村上
蔵の重要文化財福德寺本堂 山内 尚巳

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2
TEL0265-78-6719 年5000円
◇667 (56-8) 2012.8 A5 40p 500円
《終戦特集号》
公園から消えた井戸と大砲 山岸 貢
二つの飛行場が作られた「本土決
戦体制」下の伊那―「特攻兵養
成」と「特攻機生産」の一拠点
に 久保田 諄
伊那谷で原発の話をすることにな
ろうとは! 小倉 志郎
語りつぐ戦争シリーズ 「アルプ
スに響け! ぞう列車の歌」 後藤 俊夫
「八紘一宇」の石碑が語るもの 渡部 学
高山の植物(1)
乏しい水と肥料の中で 田中 茂
師匠の背中(2)より(46)
一本五円のアイスキャンデー 若林 徹男
第10回飯田市地域史研究集会案内
／伊那市創造館第5回逸品展と

講演会のお知らせ
 新刊紹介 雨宮剛編著『もう一つの強制連行 謎の農耕勤務隊』伊藤 修
 ◇668 (56-9) 2012.9 A5 40p 500円
 林宗賢著『養蚕秘傳集』の成立と養蚕技術 小野 和英
 明治期一農家子弟の薬剤師への履歴 春日 博人
 忘れ得ぬ故郷 中川村銭集落と「三六災害」(2) 有賀 直雄
 短歌雑誌の嚆矢『うた』と桃澤茂春 桃澤 匡行
 映画「ほかいびと～伊那の井月～」に寄せられた言葉(2) 井上井月顕彰会
 高山の植物(2) 石川 勝義
 可憐な夫婦花 リンネソウ 田中 茂
 文化短信 西春近沢渡で新発見 幕末期の「高札」三枚 池上 昭
 古文書の窓(107) 病気見舞いの品々 三浦 孝美
 師匠の背中(2)より(47) 南瓜 若林 徹男

◆信濃 信濃史学会
 〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
 TEL0263-36-1785 年8400円
 www.shinano-shigakukai.jp
 ◇751 (64-8) 2012.8 A5 82p 900円
 真田領における田役について 宮島 義和
 越後道・糸魚川街道と千国街道 小林 茂喜
 近世後期信濃上田城下商家の商品流通—小松屋と上野屋について 尾崎 行也

研究ノート 近世寺院のアジュール性について—信州筑摩郡金峰山牛伏寺への入寺事例 青木 教司
 随想 地方史研究と私 振り返る歴史のあゆみ 一県史から小地域史へ 湯本 軍一

諏訪湖湖南地域の歴史研究について 武田 安弘
 書誌紹介 白水智編『新・秋山記行』 小山 泰弘
 総会報告 信濃史学会 2012(平成24)年度定期総会 事務局
 ◇752 (64-9) 2012.9 A5 86p 900円
 信濃国東筑摩郡青柳宿「問屋」の一形態—青柳傳右衛門、太兵衛父子の動向を中心に 齋藤 宣政
 松代藩「松原宿」に関する一考察 —「足軽」との比較の中で 宮澤 崇士
 三澤勝衛の授業実践をめぐる一試論—実践史における意義をめぐる 石川 勝義

◆長野 長野郷土史研究会
 〒380-0905長野市七瀬南部14-7
 TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
 www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
 ◇284 2012.8 A5 48p 500円
 口絵 須坂市上中町法然堂「孝子善之丞感得御絵伝」
 源頼朝と何月に善光寺に参詣したか—地元にもあった三月説 小林 一郎
 絵解き台本 須坂市上中町法然堂「孝子善之丞感得御絵伝」 小林一郎／小林玲子
 須坂市法然堂「孝子善之丞感得御絵伝」中の五趣生死輪図について 小林 一郎
 朝陽地区 郷土史研究・文化活動 などからの地域おこしについて(2) 高原 英男
 我が家の家宝 米軍機がまいた対日宣伝ビラ 池田 忠保
 二斗八の伝兵衛さん神となる 森山 富雄

◆長野県民俗の会通信
 〒390-0851長野県松本市島内3427-45
 小原稔方 年5000円
 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
 ◇230 2012.7 B5 8p
 須々岐水神社御柱祭—平成23年、二の御柱を中心に 太田 真理
 墓地三題 木下 守
 葉書でつぶやくコーナー 分類の桎梏 直井 雅尚
 第182回例会のご案内／会員異動／受贈図書
 ◇231 2012.9 B5 8p
 穂高のあめ市—今昔の様相 臼井ひろみ
 岡田向山御嶽神社とその周辺 木下 守
 馬に関する話 臼井ひろみ
 第183回例会のご案内／受贈図書／原稿募集

◆岐阜市歴史博物館だより
 〒500-8003岐阜県岐阜市大宮町2-18-1
 岐阜公園内 TEL058-265-0010 1985年創刊
 ◇81 2012.8 A4 8p
 唐物肩衝茶入 銘 初花 重要文化財 徳川記念財団所蔵
 8.8cm(高)、7.9cm(胴径)
 特別展「織田信長と美濃・尾張」 2012.9.13(木)～10.15(月)
 特別展「～春信、歌麿から写楽、北斎、広重まで～浮世絵名品に見る『青』の変遷」 2012.10.26(金)～12.2(日)
 加藤栄三・東一記念美術館「加藤栄三・東一 素描の魅力」 2012.10.10(水)～2013.1.20(日)
 博物館ニュース 「家族の写真コンテスト」表彰式が行われました／新着図書紹介 『館藏品図

録 和傘』『加藤栄三・東一記念美術館所蔵品目録』
 研究ノート 二代兼定の初期銘について 三山 らさ
 館蔵資料紹介 諸国瀧廻り 美濃ノ国 養老の滝 葛飾北斎 大判錦絵 縦37cm、横24.9cm 天保4年(1833)頃

◆郷土研究岐阜
 岐阜県郷土資料研究協議会
 〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1
 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111
 年2800円 1973年創刊
 www.library.pref.gifu.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm
 ◇118 2012.9 B5 28p
 大垣祭軸を描いた版木 中井 正幸
 「放射能泉は大丈夫？」放射能と岐阜県の放射能泉について 古田 靖志
 東等寺冬任文庫所蔵史料の紹介 一飛騨に関係する史料二点 竹田 雅文
 村方の祭山 松野 光宏
 「平と成地名」について 土屋 一
 宝暦治水評価への誤解 丸山幸太郎
 生誕100年 養老鉄道の変遷とその存続(下) 松田 千晴
 第三代会長船戸政一先生を偲ぶ 丸山幸太郎
 書窓の風 岐阜 史跡岐阜城跡の価値・保存・活用 内堀 信雄
 可茂 可児郷土歴史館調査報告 書第一集「今八幡神社祭礼記 翻刻集(明治・大正・昭和)」 中島 勝国
 東濃 桜堂薬師千二百年展 桜堂薬師開基千二百年祭の深化をめざす資料館 桃井 勝
 郷土関係新刊書目録(104)
 郷土関係逐次刊行物文献目録(103)

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 2007年創刊
www4.tokai.or.jp/child-c.j/
◇61 2012.6 A4 4p
春野高校郷土芸能部訪問 吉川 祐子
付 若年層と祭礼
お知らせ／寄贈資料紹介
◇62 2012.7 A4 4p
新居自慢の手筒花火 吉川 祐子
寄贈資料紹介
◇63 2012.8 A4 4p
京の迎え盆・商家の盆 吉川 祐子
藤沢遊行寺の薄念仏 吉川 祐子
寄贈資料紹介

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円
◇407 2012.8 B5 4p 200円
戦争と版画家—2012平和のための
富士戦争展から 加藤 善夫
「市原正恵」の死を悼む 小池 善之
市原正恵さんの遺志を継ぐ 村瀬 隆彦
◇408 2012.9 B5 4p 200円
会告 総会 記念講演 講師：羽
賀祥二氏 演題「災害犠牲者追
悼と歴史学の立場」
9月例会レジュメ 2011年3月11月
から2012年3月11日—FUKUSH
IMA と静岡 影響と連動 清水 実
史料紹介 郷宿久三郎「下方村御
入用帳」（慶応二年） 橋本 誠一

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101

松田香代子方
homepage3.nifty.com/s-folklore/
◇144 2012.7 A4 6p
平成24年度総会・大会報告
総会議事資料 平成23年度活動報
告・平成24年度活動計画／平成
23年度収支決算報告／平成24年
度予算案
シリーズ食(21)
玄米と精白米(2) 外立ますみ
静岡の民俗語彙・方言短信
アズキ／ヒケル 外立ますみ
博物館情報／受贈資料・刊行物紹
介

◆六所家総合調査だより 富士市立博物館

〒417-0061静岡県富士市伝法66-2
TEL0545-21-3380 2007年創刊
◇11 2012.9 A4 27p
表紙 将軍家茂公の御著
〈特集 平成23年度 六所家総合調査概報〉
富士山東泉院を訪れた人々 菊池 邦彦
近世後期における東泉院慈航の地
方巡礼—駿河国弘法大師霊場・
同観音三十三所・伊豆駿河両国
横道巡礼 大高 康正

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市中熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp
◇235 2012.7 A5 25p
熱田社の和歌と文学(36)
一宗尊親王の場合 八木意知男
近代における熱田神宮の造営(前)
飛岡 秀樹
お知らせ／社頭だより／献納／例
祭初穂料・献供品／日誌抄

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
名古屋市鶴舞中央図書館
TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊
◇217 (67-1) 2012.8 A5 104p 1500円
生駒利豊書簡と小坂助六 平子正治／松井雅文
江戸期駿河街道と明治飯田街道を
問う 加藤 浩
図絵に見る尾張の街道風景(10) 櫻井 芳昭
熱田神宮と地震 二題 津田 豊彦
明治初期の農小作点描 中村 保夫
陶彫の歴史—月谷初子(乾月谷)の
生涯と芸術を中心として 大野 哲夫
『郷土文化』100号～199号 総目次
事務局
平成24年度理事会報告 事務局

◆地域社会 地域社会研究会

〒484-8504愛知県犬山市内久保61-1
名古屋経済大学内 1977年創刊
◇60 2009.3 A5 48p
近畿各地のジャコずしとジャコの
正体 日比野光敏
口絵写真 井戸端の復活 岡本 信也
郷土散歩
すっぱり抜けた「枇杷島」 日比野光敏
郷土館めぐり 秤乃館 秤屋 健蔵
文化短信（平成20年7月～12月）
◇61 2009.10 A5 68p
身近な自然観察(24) 美濃加茂市
内の川と湧水の水質 日比野雅俊／横山光伯
「地理学」巡検報告 樹海と富士
五湖の探訪 日比野雅俊／横山光伯／横
井達／加納康志／宮地紀貴
岩国ずしと山口県の「押しずし」 日比野光敏
口絵写真 線路の傍らの供養塔 岡本大三郎

郷土散歩 キジ・イヌ・モンキー、
桃太郎 日比野光敏
郷土館めぐり 安城市歴史博物館
文化短信（平成21年1月～6月）
◇62 2010.3 A5 64p
名古屋市の高機 小林 章男
「べっこうずし」の正体 日比野光敏
口絵写真 鉄のひびき—街角の音
岡本 信也
郷土散歩 納屋橋といえど？ 日比野光敏
文化短信（平成21年7月～12月）
◇63 2010.11 A5 54p
ラオス・メコン川流域におけるソ
ンバ 日比野光敏
口絵写真 役行者さん 岡本大三郎
郷土散歩 夏の思い出 日比野光敏
郷土館めぐり 高浜市やきものの
里かわら美術館 安藤さおり
文化短信（平成22年1月～6月）
◇64 2011.3 A5 59p
三重県下のコノシロずし 日比野光敏
口絵写真 街角の目印、たばこ屋
岡本 信也
郷土館めぐり
碧南市藤井達吉現代美術館 浅野 泰子
郷土散歩 恵那のマツタケ 日比野光敏
文化短信（平成22年7月～12月）
◇65 2011.11 A5 34p
巻きずしの発祥について 日比野光敏
口絵写真 トクさの仕事 岡本大三郎
郷土館めぐり 豊田市郷土資料館
杉浦 裕幸
郷土散歩 各務原名物・金魚飯!?
日比野光敏
文化短信（平成23年1月～6月）
◇66 2012.3 A5 73p
巻きずしのパリエーション 日比野光敏
口絵写真 石はなぜ、丸いか 岡本 信也

郷土館めぐり
中部大学民族資料博物館
地域社会見学記 高田 豊實
郷土散歩
「元祖」が見た戦国武将隊 日比野光敏
文化短信（平成23年7月～12月）

◆東海近代史研究 東海近代史研究会
〒482-0044愛知県岩倉市宮前町2-75
西形久司方 TEL0587-66-7569 1979年創刊
◇33 2012.7 B5 180p
巻頭言 鎮魂の船旅 高木 茂樹
吉野作造・尾佐竹猛・鈴木安蔵の
憲法研究の系譜―「日本国国民
ノ間ニ於ケル民主主義的傾向ノ
復活強化」 田村 貞雄
農兵隊と草莽隊 秦 達之
愛知県における第一回衆議院議員
選挙(下) 稲田 雅洋
“帝国”体制下の都市構想と地域ア
イデンティティ―「大名古屋論」
をめぐって（完結） 岡田 洋司
シリーズ・地域に根ざし平和を語
りつぐ(3) 戦争遺跡掘り起し 清水 啓介
歴史の小径 征韓論・日清日露・
固有の領土 田村 貞雄
研究ノート 福島原発事故と「炉
心溶融」報道―わたしたちが目
の当たりにした同時代史の光景
として 西形 久司

◆年報 近現代史研究 近現代史研究会
〒464-8601名古屋市千種区不老町 名古屋
大学文学研究科日本史学研究室気付
TEL052-789-2228 2009年創刊
◇4 2012.3 B5 88p
柳田国男における「固有信仰」と
「世界民俗学」―キリスト教との

関連から 田澤 晴子
1920-30年代の失業救済事業の地
域的展開と「登録労働者」―京
都市失業救済事業を事例に 杉本 弘幸
1950年代沖縄における政治勢力の
再検討 櫻澤 誠
史料紹介
広瀬重雄と小池勇の政談演説 高橋 賢
地域の視点 展示から収集へ―二
つの展示企画を通して 木村 慎平
書評 松沢裕著作『明治地方自治
体制の起源―近世社会の危機と
制度変容』 今村 直樹
新刊紹介 水谷憲二著『戊辰戦争
と「朝敵」藩一敗者の維新史―』久保 正明
2011年度近現代史研究会大会記録
大会報告要旨 〈道義の帝国〉論
の射程―近現代日韓における
「道義」言説と李退溪 姜 海守
大会報告要旨 伊藤博文の韓国
併合構想をめぐって 李 主先
参加記 2011年度近現代史研究
会大会に参加して 大山 僚介
2011年度近現代史研究会総会報告

◆まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇560 (52-4) 2012.7 B5 10p 600円
新刊紹介 南日本の民俗文化誌11
南日本の民俗文化誌 下野敏見
著
東京・養沢の獅子舞 石川 博司
五流尊瀧院のお日待大祭を見て―
採燈護摩供を厳粛にして見事に
完結 清水 昭男
東海民俗終了報告
串間市広野の十五夜行事「もぐら

もち」(3) 三輪 京子
第42回東海民俗研究発表大会 発
表要旨 津島天王祭りの巻き薬
風流とその展開 黒田 幹夫
新刊紹介 瀬川清子―女性民俗学
者の軌跡 岡田照子編著／お盆
のはなし 蒲池勢至著
受贈資料紹介 (514)／8月のまつ
り／9月のまつり
◇561 (52-5) 2012.9 B5 8p 600円
新刊紹介 花祭りの起源―死・地
獄・再生の大神楽 山崎一司著、
椎葉神楽発掘 渡辺伸夫著
山梨・小伏獅子舞 石川 博司
表紙写真のことば 石岡のおまつ
り 茨城県石岡市／受贈資料紹
介(515)／民俗芸能情報 第15
回全国獅子舞フェスティバル掛
川／第61回全国民俗芸能大会／
第54回平成24年度 ブロック別
民俗芸能大会 出演芸能紹介
まつり通信索引 No541～560
10月のまつり／11月のまつり

◆史料 皇學館大学史料編集所報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6462 1978年創刊
◇234 2012.6 B5 24p 300円
丹生川上神社重文石燈籠刻銘調査
報告―失われた銘文を求めて 白井伊佐牟
原川魁輔(長州藩士奇兵隊)及び西
野文太郎関係史料 恵良 宏
水谷悌二郎精拓本の再発見
―広開土王碑研究の一齣(2) 荊木 美行
彙報
いにしへの伊勢(13)―絵葉書・古
写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司

近畿

◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団
〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
TEL077-522-8369 年2520円 1977年創刊
www.shiga-bunshin.or.jp
◇140 (36-3) 2012.7 B5 92p 600円
《特集 ヨシものがたり》
3つの機能を持つ水辺のバイオニ
ア 芦谷美奈子
保全と活用 「ヨシ」条例、第3ラ
ウンドに／守るカギは環境に対
する意識と技術革新
16年前にヨシ紙開発 周知・啓発
図る 西川嘉右衛門商店 西川
嘉武さん(近江八幡市)
ヨシ製品を滋賀から全国に発信
コクヨ工業滋賀(愛荘町)
よし笛 よし笛が奏でる「琵琶湖
の音色」 年齢を問わず楽しめ
る地域性豊かなツール 菊井 了
ヨシと造形教育 高さ、細さなど
素材の特性を活かす県内の小中
学校でも制作指導 成安造形大
学空間領域住環境デザインコー
ス
四季をめぐる健康食 夏編 体調
管理を野菜パワーで支えましょ
う 齊田 充子
おうみ(近江)おうみ(多見)歩く(6)
荒神山 加藤 賢治
シリーズ 一等三角点の山と私(1)
滋賀の一等三角点
信仰の山 大比叡 植田 耕司
市民憩いの場 雨壺山 森 和代
トチノキの里で考える(2)
トチノキの芽吹き 青木 繁
談話室(9) 琵琶湖の魚と田んぼ 前畑 政善

インタビュー・湖と生きる(番外編)
 葭留4代目、ヨシ葺き職人
 竹田勝博さん(68) 植田 耕司
 いまどきの“元気なお寺”見聞(4)
 栗東市荒張 金勝寺 辻村琴美／辻村耕司
 滋賀文化事情
 湖底遺跡研究最前線 三つの遺
 跡が水没した時期や原因が明
 らかに 考古・理工学の共同
 チームで多角的に研究 林 博通
 金環日食 限界線が通る米原の
 小中高8校 総勢651人の合同
 観測で大きな成果 高橋 進
 近江人物伝(12) 中井源左衛門光
 武 関東や東北に多くの出店構
 え 陰徳善事を心掛けた近江商
 人 木村 至宏
 カラグラビア
 ヨシのある風景 長井 泰彦
 郷(さと)紀行 夏 木村 正司
 近江植物記 江南 和幸
 三上山風便り 八田 正文
 おわび紙と書と言葉(3) 増田 洲明
 シリーズ「琵琶湖世界の地域デザ
 イン」(3) 山の辺の道 活性化
 を図る拠点に 歴史的な古民家
 「一圓屋敷」を受け入れる 山崎 一眞
 湖国藝術紀行(11) 甲子吟行「大
 津へ出る道」異聞 白川・志賀
 山越えの道 江南 和幸
 湖国レディス・アイ(29) 県民と
 して記者として 母親として見
 る滋賀 森山 敦子
 北から南から
 鈴木強／寺田直子／奈良薫／安
 部愛子／源野孝彦／清水貴子／
 森友美子／豊田博／編集室
 「湖国と文化」にご支援を／地域

記者3期生募集 あなたの地域の
 の話題を誌面に
 歴史文書は語る 県政史料室から
 (4) 琵琶湖の魚 明治の水産事
 業 栗生 春実
 現代滋賀ブランド(8) ロケ地(上)
 ロケ地としての近江・滋賀 滋
 賀ならではの風景 全国発信 植田 耕司
 琵琶湖八景を巡る(続) 北の賤ヶ
 岳、南の瀬田・石山 歴史的な
 二大拠点 植田 耕司
 外国人が観る滋賀ツアー(1) 4人
 が3人が東アジアの人たち 琵琶
 湖と自然の豊かさに感銘 編集室

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
 TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊
 sigaminzokufc2web.com
 ◇587 2012.8 B5 12p 400円
 安土城へ続く「うつ」の連鎖思考
 (前) 長谷川博美
 建部伝内賢文をめぐる誤伝・誤説
 問題について(3) 中村 武三
 湖北三十三観音巡拝(7)
 一保崎谷・黒田大沢・坂口 馬場杉右衛門
 井伊大老と長野主膳(4)
 一師弟水魚の交わり 馬場杉右衛門
 滋賀の石造文化財(中世)の概観に
 ついて(25) 福澤 邦夫
 半弓の矢の羽根について 粕渕 宏昭
 白山権現社の再興にまつわる記録
 (1)一横浜市金沢区釜利谷地区
 大喜多紀明

講師 旭堂南陵(二代目)の聞き
 書き一代記(16) 菅沼晃次郎
 ◇588 2012.9 B5 12p 400円
 人類が永遠に平和で生きることを

念じて一私が理解できた民族の
 歩み 菅沼晃次郎
 建部伝内賢文をめぐる誤伝・誤説
 問題について(4) 中村 武三
 安土城へ続く「うつ」の連鎖思考
 (後) 長谷川博美
 井伊大老と長野主膳(5)
 一開国の断行 馬場杉右衛門
 近江・源平興亡の残照(1)
 一源頼光と弟美女丸 馬場杉右衛門
 白山権現社の再興にまつわる記録
 (2)一横浜市金沢区釜利谷地区 大喜多紀明
 運動足袋について 粕渕 宏昭
 講師 旭堂南陵(二代目)の聞き
 書き一代記(17) 菅沼晃次郎

◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿

〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34
 TEL0774-33-1199 1973年創刊
 ◇131 2012.7 B5 386p
 口絵 黄檗文華
 『黄檗文華』第百三十一号序 岡田 亘令
 『黄檗文華』第百三十一号発刊に
 寄せて 浅井 聖道
 宗派意識とその変成
 一正宗の呼称をめぐる 長谷部幽蹊
 隠元禅師に対する江戸幕府の政策
 について 林 観潮
 隠元禅師語録について(4) 大槻 幹郎
 鉄眼版大蔵經の出版とその利用 内山 純子
 黄檗山萬福寺所蔵『華嚴經疏論纂
 要』と、戦時下の日中文化交流
 大野 公賀
 河州の黄檗派廃絶寺院について 石渡 吉彦
 萩藩主毛利家の墓碑考察 秋元 茂陽
 新出 金龍山浅草寺所蔵・木庵性
 瑠賛「靈照女図」について 藤元 裕二
 伊藤若冲筆《動植綵絵 老松白鳳

図》における「もう一羽の鳥」
 一閑古鳥と諫鼓鳥 中野 晶子
 講談『尼子然』をめぐる 松村 恒
 鄭廷玉撰「布袋和尚忍字記雑劇」
 試訳(上) 北川 修一
 南安小雪峰を舞台とする中国版
 「恩讐の彼方に」について 野川 博之
 国内外の著作にみる川口慧海(4) 高山 龍三
 望月仏教大辞典編纂に従事した槃
 僧・服部俊崖 住谷 瓜清
 「木庵伽羅笠」(名古屋千種区紫
 磨山長福寺所蔵)と、神農図に
 描かれた蓑について 三浦 重徳
 古黄檗「翠竹庵」と京黄檗「竹林
 精舎」について 田中 智誠
 魏双侯は明楽を日本に齎した経緯
 を再考察—永楽帝明主由榔との
 関連を踏まえて 楊 桂香
 事務局だより／平成22年度事業報
 告

◆京都民俗 京都民俗学談話会

〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96
 仏教大学文学部 八木透研究室気付
 TEL075-491-2141 年4000円 1984年創刊
 ◇29 2012.3 A5 99p
 滋賀県における民俗映像の記録作
 成の軌跡 長谷川嘉和
 近代における屋号の生成 柿本 雅美
 墨書銘にみる近世太鼓作りの文化
 一滋賀県を事例に 中島 順子
 シンポジウム 「野」の学問百年
 京都編 田中緑紅・井上頼寿・
 江馬務、そして…一京都におけ
 る民俗学の萌芽期に問う
 村上忠喜／伊藤廣之／大東敬明
 ／芳井敬郎／菊地暁／土居浩
 書 評

吉川宗明著『岩石を信仰していた日本人』 秋月 俊也
開沼博著『フクシマ論 原子力ムラはなぜ生まれたのか』 工藤紗貴子
アルフレート・ボーナー著、デ
イビット・モートン編『同行
二人―四国八十八か所』 小田 匡保
2011年度京都民俗学会 談話会報
告

◆**史迹と美術** 史迹美術同友会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
FAX075-441-3159 年8000円 1930年創刊
◇**827** (82-7) 2012.8 A5 34p 915円
口絵 最上地区の石鳥居(1)(2)
欽明紀小考(下) 田寺 英治
日本の塔百選(7)
法観寺五重塔(八坂塔) 中西 亨
飛雲閣を探して(2) 飯貝本善寺
所蔵『飛雲閣古図』について 加藤 繁生
第971回例会 和歌山県有田海岸
地区の名利を訪ねる 松本 啓吾
第972回例会
南丹市八木町の文化財 矢ヶ崎善太郎
「石造美術勉強会」のおしらせ
石造美術勉強会に参加して 高橋 浩行
口絵写真解説 最上地区の石鳥居
磯川政一／中西亨
◇**828** (82-8) 2012.9 A5 34p 915円
口絵 紀州東照宮、石清水八幡宮
金燈籠の鋳物師／平成24年1月
例会 城陽市内の神社建築と遺
跡
飛雲閣を探して(3)
洛中洛外図に描かれた飛雲閣 加藤 繁生
日本の塔百選(8)
清凉寺(嵯峨釈迦堂)多宝塔 中西 亨

紀州東照宮、石清水八幡宮金燈籠
の鋳物師 石塚 雄三
第973回例会 山城国久世郡南
部の文化財―城陽市内の神社建
築と遺跡をめぐる 丸山 貞
新刊紹介 福澤邦夫石造文化財拓
本集(1)～(4) 中西 亨

◆**史 創** 史創研究会
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
立命館大学文学部 小関素明研究室
2011年創刊
◇**1** 2011.8 A5 77p 980円
刊行にあたって
小関素明／小路田泰直
／小林啓治／住友陽文
《特集 「想定外」と日本の統治
―ヒロシマからフクシマへ》
ヒロシマからフクシマへ 小路田泰直
戦後民主主義の想定領域
―原子力開発と55年体制 住友 陽文
「冥王」ブルトニウムの誘惑
―ヒロシマからフクシマへ 布川 弘
災害史と現代 西谷地晴美
《特殊な》知識人
―湯川秀樹と小林秀雄 田中 希生
書評 奈良勝司著『明治維新と世
界認識体系―幕末の徳川政権
信義と征夷のあいだ―』 小路田泰直
大会・例会記録
◇**2** 2012.3 A5 105p 1000円
特集1 「革命」とは何か
明治維新「革命」論―権力の
「原点」と普遍化の技法 小関 素明
中国革命が意図するもの 八ヶ代美佳
特集2 原子力と戦後政治
原子力開発・原発問題から戦後
国家を再考する 小林 啓治

原子力時代における日本国憲法
の「革命」―核問題と憲法全
面改正論 林 尚之
安全神話の政治学 小路田泰直
近代法における主体の位置 猪原 透
和歌の言葉と心
―『新古今和歌集』試論 石黒 志保
大会・例会記録

◆**史談福智山** 福知山史談会
〒620-0884京都府福知山市堀495-3
塩見昭吾方 TEL0773-22-7546
◇**725** 2012.8 B5 6p
福智山史談会夏の例会報告 緑陰
講座(平成24年)(福知山史談会
・三和郷土史会共催)「福知山
城主稲葉淡路守紀通とその菩提
寺回天和尚について」(概要報
告) 嵐 光激
◇**726** 2012.9 B5 12p
明智光秀の重臣 齋藤内蔵助利三
のこと 嵐 光激

◆**都藝泥布** 京都地名研究会通信
〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
糸井通浩方 TEL0774-44-7636
年3000円 2002年創刊
www.geocities.jp/Kyotochimei/
◇**41** 2012.7 A4 8p
平成24年度京都地名研究会総会報
告 講演1 書かれざる古代史
の発見・南山城―四月講演の要
点(吉田金彦)／講演2 角倉了
以と京都(角倉吾郎)
第34回京都地名フォーラム案内
上ル下ルのまち京都が危機!―
通り名表記は時代に不適合なの
か(黒田正子)／井出寺と橘諸兄

(茨木敏仁)／「三年坂(産寧坂)」
考―伝承と地名(糸井通浩)
地名随想1
寺の名の付いた町名(2) 清水 弘
京の地名俳句を観る(5)
洛南の巻 尾崎聖二郎
地名随想2 地所表記のカタカナ
―「上ル」か「上る」か問題め
ぐって(2) 糸井 通浩
会長日記抄 吉田 金彦
発掘説明会参加報告 山崎 泰正
地名随想3 “原発銀座”若狭湾の
危ない地名(1) 網本 逸雄
会員紹介 会員著作紹介 金坂清
則著『完訳日本奥紀行』1・2、
山崎泰正・井本伸廣著『京都府・
謎解き散歩』、山崎泰正著『清
盛・義経ゆかりの人と伝承地』、
受贈図書・文献紹介／会員納入
のお願い

◆**鉄砲史研究** 日本鉄砲史学会
〒607-8345京都市山科区西野離宮町2-1
山科南団地E棟213 岡崎清方
TEL075-594-3145 年10000円 1968年創刊
〒362-0066埼玉県上尾市領家丸山115-24
峯田元治(連絡先) TEL048-781-9324
◇**373** 2012.7 A4 85p 1000円
東三省兵工廠から奉天造兵所まで
の変遷 名古屋 貢
薩摩筒の分析から材質と製作法
山崎和彦／中江秀雄
薩摩筒の調査・追補解説 峯田 元治
ペリー提督と開国条約 今津 浩一
日本製のゲバール銃 須川 薫雄
狩猟2012原村 松岡 孝治
会員著書案内と半言 峯田 元治
平成24年度総会報告

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151 1993年創刊
www.ritsumeit.ac.jp/mng/er/wp-museum/
◇56 (20-1) 2012.8 A4 24p
スポット ミュージアムの所蔵品
(53) レコード「露營の歌」
館長だより
福島県二本松の母校を訪ねて 安斎 育郎
館長だより 「命」の素晴らしさ
を祝う「平和」への歩み モンテ・カセム
ここが見どころ 規律訓練型権力
と従順な身体—ミシェル・フー
コー『監獄の誕生』を読む 加國 尚志
運営委員リレー連載 ヨーロッパ
の「平和のための博物館」を訪
問して 山根 和代
ミュージアムおすすめの一冊 戦
友会研究会著『戦友会研究ノー
ト』(青弓社 2012年3月刊) 赤澤 史朗
ミニ企画展
開催報告 (2012年2月～7月)
事業報告 2012年度春季特別展
放射能と人類の未来／ミュージ
アム開設20周年記念事業／チャ
レンジ体験受け入れ／インター
ンシップ受け入れ
祝！来館80万人達成
甲州市立塩山中学校見学と平和集
会／2011年度資料・図書など寄
贈者一覧／日本平和博物館会議
加盟館の紹介・第4回沖縄県平
和記念資料館／ボランティアガ
イド活動日誌(村尾孝)／平和
へのメッセージ—常設展示見学
者の感想／2011年度入館者状況
(2011年4月～2012年3月)／編集
後記／ミュージアムインフォメ

ーション

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
◇296 2012.8 B5 14p
近世前期の佐野村諸帳簿—土地関
連史料の整理を課題に(1) 井田 寿邦
熊野古道の旅(18) 大辺路(上) 北山 理
和泉の中世城郭(13) 井田 寿邦
新刊案内 泉佐野の歴史と今を知
る会編『地域論集Ⅳ 佐野町場
2 歴史散策編』
◇297 2012.9 B5 14p
蟻通雑記(4) 宗福院の相論 樋野 修司
第18回熊野古道の旅に参加して 高橋みや子
和泉の中世城郭(14) 井田 寿邦
但馬歴史探訪
感動の明延・生野・竹田 事務局
◆大阪の歴史 大阪市史編纂所
〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2
大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333
1980年創刊
◇78 2012.7 A5 134p 700円
《特集 西区》
木村蒹葭堂と黄檗の文人文化 有坂 道子
来日ドイツ人と幕末・明治初年の
日独交流—カール・レーマンを
中心にして 荒木 康彦
大阪大空襲の六七年
—徳田さんのこと 人見佐知子
堀江・あみだ池大黒の二百年 水知悠之介
大坂城大手門枳形所在の鏡石につ
いて 三瓶 裕司
電鉄系百貨店の女子商業学校—昭
和初期の大阪を中心として 谷内 正往
融通念仏(宗)研究文献紹介 小野澤 眞

みおつくし 鍋島の納涼 内海 寧子
受贈図書資料
新刊図書紹介
関西大学大阪市遺産研究セン
ター編『大阪時事新報記事目
録』—文芸と映画編 昭和Ⅰ 古川 武志
関西大学大阪市遺産研究セン
ター編『大阪時事新報記事目
録』—建築と社会編 昭和Ⅰ 松岡 弘之
長尾武著『水都大阪を襲った津
波—石碑は次の南海地震津波
を警告している—』(2012年
改訂版) 堀田 暁生
荒木康代著『大阪船場おかみの
才覚「ごりょんさん」の日記
を読む』 松岡 弘之
史料収集彙報／市史編纂日誌
◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
blog.goo.ne.jp/rekisitanbou/
◇336 (29-8) 2012.8 B5 12円
浪速今昔百景(18)
吾彦山観音寺「我孫子観音」 川村 一彦
7月例会報告(第305回)「平家物語
とゆかりの史跡」 園和代氏／
古文書講座(第133回)「用紙の
借用銀につき訴え」 石川道子
先生 (磯崎)
6月見学会 天誅組隊士の足跡
桜井慈恩寺から山辺の道を行く
入野清氏 (久保)
◇337 (29-9) 2012.9 B5 8p
浪速今昔百景(19) 大阪市中央公

会堂(旧中ノ島公会堂) 川村 一彦
8月例会報告(第312回) 平成24年
度本会定時総会 「日本人の世
界観」—国境・境界を超えて行
動した人びとに学ぶ 片倉穰氏
◆家系研究協議会会報
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇41 2012.8 B5 8p
第二回関東例会にあたって 馬原 浩一
家系研究協議会 平成24年度第11
回総会および春の例会報告
小村氏蔵書整理状況(続編)
家研協たより／家系研究協議会次
回例会予定／会員情報／出版情
報『日本の苗字』難読・珍姓・
最多苗字 都道府県別ベスト10
珍名さんいらっしゃい(38) 眞野 幹也
図書出版案内／受贈図書・資料
◆河童通心 和田寛
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
TEL072-251-2586 年2400円
◇342 2012.8 A5 20p 200円
河童の文化史 平成期(19)
平成22年(2010年) 和田 寛
「河童文庫」増加図書目録
◇343 2012.9 A5 16p 200円
河童の文化史 平成期(20)
平成23年(2011年) 和田 寛
◆近畿文化 近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円

◇753 2012.8 A4 8p 300円
弘法大師空海の道
一吉野から高野へ 菅谷 文則
奈良県にみる戦争 駒井 正明
◇754 2012.9 A4 8p 300円
伏見の建築と庭園 矢ヶ崎善太郎
磐余の地を歩く一安倍・百済 猪熊 兼勝

◆左海民俗 堺民俗会
〒593-8307堺市西区平岡町268-20
下谷佐吉方 TEL072-274-1479 年3000円

◇139 2012.5 B5 12p
《特集 彼岸への旅立ち》
心に刺さった棘 佐原 浩二
彼岸への旅立ち—私の疑問 大森 治
彼岸への旅立ち 秋原 俊彦
彼岸への旅立ち 森井 淳吉
彼岸への旅立ちによせて 生駒 道弘
彼岸への旅立ち 加藤 孜子
祇園祭 川村 淳二
第66回総会報告
例会報告と一口メモ
3月例会報告(3月18日)
高砂の伝説を歩く 山崎 琢磨
4月例会報告(4月23日)
平城京跡を歩く 植田 敏義
4月特別例会報告(4月4日)
五月山観桜ハイキング 本田久美子
5月例会報告(5月13日) 蘇我氏
四代(稲目・馬子・蝦夷・入鹿)
の史跡散策 生駒 道弘
6月例会報告(6月10日) 泊瀬道
・伊勢街道「万葉歌碑を巡る
Ⅷ」 下谷 佐吉
6月特別例会報告(6月2日)
熊野古道Ⅶ(布瀬屋～海南) 佐原 浩二
堺民俗学会からのお知らせ

◆城だより 日本古城友の会
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/
◇524 2012.8 B5 20p
美濃大垣城とその城下町を探訪し
ます(9月・第587回例会)のご案内
10月・第588回例会の予告／セミ
ナー等のご案内／受贈図書・資
料／城郭ニュース(新聞記事提
供者)
7月・第585回例会の報告 三河・
足助城とその周辺を探訪 栢木 隆
会員通信
三河足助城(鳥瞰図) 川端 義憲
大名の飛地(飛知)(承前)
幕末期 白木と東山の采地 上田 正和
大和国の中世城館(1) 地域的
特徴としての単郭方形城館 星野 直哉
新聞記事紹介
◇525 2012.9 B5 20p
近江三雲城・丸岡城・多喜山を探
訪します(10月・第588回例会)の
ご案内
11月・第589回例会の予告／セミ
ナー等のご案内／受贈図書・資
料／城郭ニュース(新聞記事提
供者)
8月・第586回例会の報告
摂津大坂城を探究する 平川 大輔
会員通信
私も行きました滝山城へ 水品 弘樹
事務局より 運営委員会報告
新聞記事紹介

◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11

山口久幸方 TEL06-6857-4959
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇295 2012.8 B5 14p
考古学からみた四・五世紀の尾張
とヤマト政権 赤塚 次郎
6月現地見学
近つ飛鳥博物館見学 野村 武司
読書室『都はなぜ遷るのか—遷都
の古代史—』仁藤敦史／俳句／
9月の例会／9月の現地見学
◇296 2012.9 B5 18p
古市・百舌鳥古墳群の成り立ち 一瀬 和夫
柏原市の史跡を訪ねて(1) 石塚 一郎
卑弥呼の神獣鏡? 奈良県上牧町
久渡古墳群で発見 津島 隆治
北摂散歩 桜井谷窯跡群23号窯跡
を採して 古高 邦子
読書室『天皇陵古墳を考える』白
石太一郎・今尾文昭・森田克行・
高橋照彦著(学生社・2940円)／
俳句／10月の例会／10月の現地
見学

◆ヒストリア 大阪歴史学会
〒560-8532大阪府豊中市待兼山町1-5 大
阪大学大学院文学研究科 飯塚一幸研究室
1951年創刊 www.soc.nii.ac.jp/historia/
◇233 2012.8 A5 139p 800円
『晋書』に見る魏と倭の関係 河内 春人
安芸国人沼田小早川氏と室町幕府
・守護 市川 裕士
「大東亜国際法(学)」の構想力
—その思想的背景— 佐藤太久磨
わたしたちの文化財
私部城跡(交野城跡) 古田 知史
書 評
市沢哲著『日本中世公家政治史
の研究』 遠藤 基郎

海津一朗著『紀伊国杵田荘』
(同成社、中世史選書9) 坂本 亮太
服部龍二著『日中国交正常化—
田中角榮、大平正芳、官僚た
ちの挑戦』 関口 哲矢
小山仁示先生を偲んで 小田 康徳
報 告
「ピースおおさか」の継承発展
の申し入れ 企画委員会
大阪中央郵便局旧庁舎の保存を
求める裁判 企画委員会
伏見城跡の現状調査 企画委員会
宮内庁書陵部との懇談会2012 岸本 直文
委員会報告

◆歴史考古学 歴史考古学研究会
〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16
奥村隆彦方 TEL072-331-6679
年3000円 1978年創刊
◇65・66 2012.8 B5 151p
韓国梵字資料調査(2009・2010年
調査) 高正龍／小林義孝／田村信成
／松永修輔／松波宏隆／三木
治子／山川公美子／横田明
はじめに／韓国梵鐘と真言／梵
鐘／金鼓／瓦磚／腹藏品と印刷
物／その他／梵鐘銘文／おわり
に／引用文献
高麗・朝鮮時代の石造美術と梵字
真言 巖 基杓／横田明・訳

◆歴史懇談 大阪歴史懇談会
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2
アンティークショップ—兵内
TEL06-6931-1081 年5000円 1987年創刊
blog.goo.ne.jp/rekisitannbou/
◇26 2012.8 B5 99p 1500円
表紙のことは 金閣寺(鹿苑寺) 久保 敏博

特別寄稿 近世江戸積み酒造業と
原料米の流通—伊丹酒造業と高
槻藩の郷払い米 石川 道子
玉山金山(6)
—東日本大震災との遭遇 松坂 定徳
石見吉川家十代目 吉川式部少輔
経家(8) 田村 紘一
宮主矢河枝比売の伝承 安居 隆行
歴史随想 ニールスの民
六千年の流れに惟う(9) 吉井 功兒
欧米八ヶ国建材事情調査を回想す
る古代コンクリートの進化とそ
の威力を問う 小林 司
三好筑前守と朝倉景亮について 真野 尚子
難波長柄豊崎之宮御世
—皇太子奉請文 岩谷 隆行
招魂社から
靖国神社・護国神社への考察 川村 一彦
「大東亜戦争参戦記」を読む 室田 卓雄
武家社会と「花押」
—政宗、絶対絶命 寺井 正文
高田松原の流木が清水寺の大日如
来像に一縁は異なるもの味なもの
松坂 定徳
岩崎城—織田・羽柴・徳川との間
で丹羽氏四代、悲運の城 久保 敏博
くノ一忍法帖 伊賀の乱(2) 安田 建一
平成23年度の歩み 磯崎 素子
コラム独り言つ「鉛筆を削ったの
はいつですか」 井川 光正
編集後記 井川 光正

◆撰播歴史研究 撰播歴史研究会
〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
TEL079-442-0658 1986年創刊
◇58 2012.7 B5 8p
「播磨」という地名 橋本 雅之
故郷の社寺の変遷 青野 克彦

新刊紹介 続・田中卓著作集『考
古学・上代史料の再検討』 廣瀬 明正

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇533 2012.8 B5 8p
8月行事 展覧会
吉井貞俊 近郊遠呂景観図巻展
アメリカ旅行記・ボストンの旅
(平成19年7月4日～10日)(2) 矢野 光男
復帰40年の沖縄(2) 二宮 健
神宮摂末社めぐり(7) 倭姫宮／
伊雑宮／佐美長神社／赤崎神社
J R 櫻井線 大和高田→奈良(2) 吉井 貞俊
◇534 2012.9 B5 8p
9月行事 観月祭 観月の宴
復帰40年の沖縄(3) 二宮 健
紙の歴史と文化・名塩和紙の里 山下 忠男
「伝統・文化に関わる教育」研究
“伝統芸能を学校へ”(1) 森村 暁子
J R 櫻井線 大和高田→奈良(3) 吉井 貞俊

◆LINK 地域・大学・文化 神戸大学大学院
人文学研究科地域連携センター年報
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
TEL078-803-5566 2009年創刊
www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/
◇4 2012.8 B5 134p
《特集 地域歴史文化の形成と災害資料—認
識すること・記録すること・伝えることの
意味を考える》
特集にあたって 編集委員会
地域資料としての災害資料—第10
回歴史文化をめぐる地域連携協
議会の成果 板垣 貴志
地域と災害の長期的相互規定関係
を展示する—産業の被災・復旧

と人口の移動をめぐる 兒玉 州平
地域歴史文化の形成拠点としての
図書館—震災資料を伝える 宮本 博
手記集を介したコミュニティー市
民の震災記録活動と、神戸と東
北の繋がりについて 高森 順子
博物館と災害資料
—伊丹市立博物館の取り組み 小長谷正治
かなしみ—もしくは人生を綴ると
いうこと 上村 武男
論考 掛屋の情報蒐集—生野銀山
・藤本市兵衛義方の日記から 添田 仁
フィールドレポート
旧玉置家住宅を活かしたり取り
組み 辻田 政顕
住吉歴史資料館の事業について
内田 雅夫
篠山に学びの場を再興する—神
戸大学篠山フィールドワーク
ステーションの取組 布施未恵子
LINKを読む
定住外国人にとって「地域」と
はなにか 樋口 大祐
「歴史学は地域とどう向き合う
か」について 井上 舞
時評・書評・展示評
近代神戸の風景—レファート写
真コレクション 木村 修二
Web版『図説 尼崎の歴史』 伊藤 俊一
書評『丹波の歴史文化を探る』
／『古文書から分かった江戸
時代の村のすがた』 藪田 貫
坂江渉編著『神戸・阪神間の古
代史』 渡辺 伸行
香寺町史『村の歴史』通史編—
地域住民と研究者との協議の
視点から 印藤 昭一
大津留厚・奥村弘・長野順子著

『捕虜としての姫路・青野原
を生きる 1914-1919 箱庭
の国際社会』 黒河 潤二
報 告
神戸大学大学院人文学研究科地
域連携センター活動報告
人文学研究科古文書室架蔵文書
群の紹介(1)
人文学研究科古文書室収蔵文書
一覧(2011-11年度購入分)

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0555
年3000円 1962年創刊
◇293 (51-4) 2012.8 A5 57p 600円
《特集 新しい播磨の地域史》
三木城の最期について 小林 基伸
三新法体制期の姫路における芝居
小屋—坂元町定小屋を事例とし
て 森本 泰弘
史料紹介 播磨性海寺所蔵の足利
尊氏袖判御教書—『兵庫県史』
史料編中世二が写しとする足利
尊氏禁制 依藤 保
『山名家譜』所収文書について 渡邊 大門
『投贈和答諸詩小序』にみる播磨
の雲溪支山について 片岡 秀樹
〈景観〉—その表象と古層のあいだ
『神戸〜尼崎 海辺の歴史 古代
から近現代まで』読後 上村 武男
「歴史と神戸」創刊50周年—記念
事業のお知らせと原稿募集
顧問小山仁示さん死去
新聞地域版を読む

◆大美和 大神神社
〒633-8538奈良県桜井市三輪

TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp
 ◇123 2012.7 B5 72p
 暑中ご挨拶 鈴木 寛治
 纏向を探求するさいの心構え 森 浩一
 俳句 御用邸 森田 峠
 三輪朝臣高市麻呂 井上 辰雄
 短歌 季の移り 尾崎左永子
 山と人と
 三輪山の原始性と神話と歌と 藤原 茂樹
 短歌 青草 前川佐重郎
 第8回三輪山セミナーイン東京講
 演録 神酒と祭り 岡田 莊司
 三輪山セミナー講演録
 大御輪寺の仏像と神像 鈴木 喜博

◆まほろびすと まほろば会
 〒630-8144奈良市東九条町6-4
 TEL0742-50-2002 2012年創刊
 www.maforovist.com
 ◇3 (1-3) 2012.7 A4 80p 600円
 Photo de ことほぐ
 今宵、奈良町に迷い込む 酒肆
 春鹿／なら泉 勇斎／そば処
 季のせ／まんぎょく／Ritz／樹
 樹／ビストロスクワール／厨／
 元林院 京富／鬼無里
 古代と対話するミュージアム
 元興寺文化財研究所
 今この人に会いたい、伝えたい
 元林院最若手芸妓 菊乃さん
 職人の道具箱 燈火器 武田 高明
 夫婦で、奈良に住んでみました
 奈良の純米酒を飲み比べ
 百年のインサイドストーリー（奈
 良ホテル）歴代シェフが胸を
 張る、奈良ホテルの朝食
 記紀万葉ツアリズム 神さびし葛
 城古道へ 風の森神社／高鴨神

社／高天原神社／高天原伝承地
 ／葛城一言主神社／葛城高丘宮
 跡／鴨都波神社
 神の杜の、奥深く
 埋もれた神、ニギハヤヒ 宮家 美樹
 ブルーライオンを連れて（ブジョ
 ー） 大自然で過ごす親子の夏
 休み
 大和の美味・三輪素麺（異製粉）
 美味し大和、涼し素麺
 地元バス会社、こだわりの旅行企
 画（奈良交通）『古事記』をめ
 ぐるバスツアー 畝傍・香久山
 山麓に伝わる愛と絆の物語をた
 どる
 異国で読み解く、埋もれた古代
 平城京遷都の秘密 多田 克己
 インフォメーション&読者ブレゼ
 ント／今こそ巡りたい奈良暦

中国・四国

◆郷土石見 石見郷土研究懇話会
 〒697-0034鳥根県浜田市相生町2139-15
 児島俊平方 TEL0855-22-2567 1976年創刊
 ◇90 2012.8 A5 142p 1200円
 特報 島田速雄のこと(2)一昭和
 初期「政党政治黄金時代」に活
 躍した石見出身の政治家 飯田 泰三
 近世・石州瓦史考(上) 児島 俊平
 津和野人の語る森鴎外 山岡 浩二
 糸繰り人形を育てた吉田の土壌 宮本 巖
 柿本佐留と石見(5)
 一その歴史学的考察 安達 肇
 電灯青き店で買ったカフスボタン
 一鴎外『うた日記』の「鉤鈕」 牛尾 光國
 青春残照(16)
 一真紅の落日に昭和終る 下垣 秀典
 異神が舞う 竹内 幸夫

やなしお坂中の休石碑について 林 栄毅
 町から村から
 青木秀清翁碑 三代碑のことど
 も一わが町の碑 青木 秀暢
 「ホントに本当にあった話」 寺井 昭介
 美都支部20年の歩み
 一記念誌発刊にあたって 児島 房夫
 資料 安永天明期の石東俳諧一大
 国村俳諧を中心として 吉川 隆美
 文芸 サクラはサクのか？ 光岡 和子
 文芸 天災と人災 佐々木徳次
 入会投稿案内／お知らせ 研究大
 会のご案内／平成23年度事業報
 告／新入会員紹介／在庫バック
 ナンバー／研究懇話会支部(長)
 一覧／執筆者紹介

◆宇喜多家史談会会報
 〒700-0826岡山市磨屋町6-28 光珍寺内
 TEL086-222-2028 年2000円 2002年創刊
 ◇43 2012.8 A4 10p
 宇喜多一族の興亡 谷淵 陽一
 備中高松城水攻めの発案者（宇喜
 多家史談会会報第8号・平成15
 年10月4日） 花房 正幸
 物語直家記伝 乙子の城 第15回
 相克(6) 山重十五郎
 会員サロン
 岡山城天守閣の風評への疑問 一 会 員
 事務局からのお知らせ
 秀家卿ゆかりの軍船のイカリ
 第4回戦国の貴公子 宇喜多秀家
 ☆フェス「宇喜多軍大行列」

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
 〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
 TEL084-953-6157 bingo-history.net
 ◇167 2012.8 A4 24p

論 考
 頼大可島城と村上亮康 田口 義之
 福山南部の干拓における矛盾に
 ついて一消された福山沖新田
 の謎に迫る 田中 伸治
 古事記の竺紫の地を特定する 根岸 尚克
 研究ノート 消滅した「高岩第一
 号古墳」について 岡田宏一郎
 史料紹介 福田別所砂留(2) 田口 由実
 御答申上候
 中世石造物と石工集団について
 例会報告 「服部の辻堂を歩く」
 5月徒歩例会 岡田宏一郎
 5月徒歩例会 備後の四ツ堂を歩
 くに参加して 永久 信吾
 「ぶら探訪五」に参加して 三島 忠芳
 例会俳句 「ぶら探訪」（福山市川
 口町）に参加して 住田 保夫
 郷土探訪 福山市立東小学校の創
 設にまつわる伝説 中西 太一
 懐かしの写真館 両備輕便鉄道
 ラッキョウ汽車と奈良津トンネ
 ル 中西 太一
 研究ノート 織田信長の墓 足立捷一郎
 山城レポ
 京極氏の山城・上平寺城跡 末森 清司
 大分便り 戴いた寶篋印塔 後藤 匡史
 紀行文 対馬紀行(3) 三好 勝芳
 投稿俳句 鳥根県出雲市平田町
 （一畑薬師所在）の保存地区 本
 線街道を訪ねて 住田 保夫
 おすすめ図書 小さな発見と喜び
 今村 武美
 公式サイト／事務局よりお知らせ
 中世石造物調査のお願い
 調査報告 中世石造物の調査報告
 事務局便り 篠原 芳秀

◆**広島土史研究会会報**

〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内 TEL0823-71-0706
1998年創刊

◇110 2012.7 A4 16p
野坂完山・俳号柴籬 肖像 上河内良平
近世後期芸備地域の俳諧交流につ
いて 河宮 正至
藤田家文書 第Q章 藤田家財産
目録・起業資料集と関連文書
Q-1広島水力発電所基本資料
(14) 広島土史研究会古文書部会
総会報告／県史協地方大会準備会
合／広島土史研究会会報合本仕
上がり報告／事務局／写真で見
る広町の歴史展／古文書部会の
報告／例会の主な感想／例会報
告

◆**広島民俗 広島民俗学会**

〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24
岡崎環方 TEL082-818-3497 1974年創刊

◇78 2012.8 A5 80p 500円
神楽の定義と広島神楽 三村 泰臣
安芸高田地方における石見阿須那
系神楽(高田舞)の成立と展開 築地 昭二
尾道市の神楽 西井 亨
伊吹島の神楽拝見記―香川県観音
寺市伊吹島に伝わる神楽 下畠 信二
呉市川尻町 堀越祇園社の祇園祭
光平 有希
古式を残す比和牛供養田植
一牛は農宝、豊穰への祈り 正本真理子
東城地方の俗信・諺語 久岡 武美
平成23年度現地研究会
「平清盛にちなむ音戸めぐり」 岡崎 環
「隠渡」「雨後の月」 栗原 秀雄
『広島民俗』発刊当初のことなど

一表紙の「題字」と「色」につ
いて 原田三代治
受贈図書／彙報

◆**みよし地方史 三次地方史研究会**
〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
1987年創刊

◇88 2012.8 A4 12p
三次地方の地震 米丸 嘉一
村の城 序論(1) 新祖隆太郎
史料紹介 上下銀の返済が滞った
一事例―箕岡家文書より 立畑 春夫
三次地方の地名あれこれ(21)
幸利(三次市志幸町) 上重 武和

◆**わが町三原 みはら歴史と観光の会**
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
福岡幸司方 TEL0848-62-2935 年3600円
◇257 2012.8 B5 16p 100円
今月の各地 ちょっと一言 大林 哲三
追悼記

伊野木さん、これからも見守っ
てください 鈴木 健次
伊野木さんの死を悼む 古川嵯知子
しまなみ信用金庫前会長
大藤直也氏の死を悼む 古川嵯知子
厳島神社と平清盛(2) 大本 静人
山陽新幹線 三原駅誘致秘話(完
結編) 西原 達夫

◇258 2012.9 B5 12p 100円
今月の各地 新藤兼人先生ありが
とうございました 堀本 逸子
秋の研修旅行ご案内
赤穂城跡と室津の周辺めぐり 柏原 栄三
厳島神社と平清盛(3) 大本 静人
三原のあゆみ(1)(芸陽日々新聞
創刊20周年記念誌より)

◆**徳島県立博物館ニュース**

〒770-8070徳島県徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636
1990年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇87 2012.7 A4 8p
企画展「ほねほねワールド」 山田 量崇
Culture Club
駿河湾の深海魚採集 佐藤 陽一
平成24年度企画展「ほねほねワー
ルド」
情報ボックス 印籠拝見記―長岡
市立科学博物館へ 大橋 俊雄
館蔵資料 遠洋漁業船の航海日誌
磯本 宏紀
Q&A 化石がとれる場所を教え
てください 中尾 賢一
7月から9月までの博物館普及行事
あなたも参加してみませんか？
／博物館友の会に入会しません
か？

◆**秦史談 秦史談会**
〒780-0023高知市東秦泉寺283 松本紀郎
方 TEL088-875-6671 1984年創刊
◇170 2012.8 B5 64p
表紙 シエイク・ハンド龍馬 松下 政司
グラヴィア 片岡半齊墓所、露天
丸入港、島村寿之助、土方久元
書簡
大橋落書写 常石 芳英
俳句 梅雨晴間 西方 郁子
山田一郎さんと！(4)
片岡半齊の墓と母と、伯父と 山本華与子
オリンピック金の北村久寿雄 広谷喜十郎
『ありがとう』(東京より)
(「こうち童話」から) 久米生太子
龍馬脱藩、刀を与えたのは誰か 岩崎 義郎

楠瀬大枝の周辺(2)
一族受難の時、など 和田 豊子
俳句 濱口雄幸生家 溝渕 匠史
土御門上皇と四国路 溝渕 匠
豊臣秀吉の九州征伐(4) 笹原 保博
四字熟語で思いを(き・く編)
東日本大震災の復興を(「こう
ち童話」から) 永野美智子
土佐路の野口雨情(3) 永国 淳哉
「ローカルジャーナル 秦史談」
(『高知新聞』より)
戦史12 シベリア抑留日本兵の軌
跡(1)―その背景を考える 毛利 俊男
地名の起り「加賀野井」(『羽鳥市
史』より)
楠瀬大枝の周辺(3)
武市富子の手紙、など 和田 豊子
永国先生の「土佐路の野口雨情」
関連(1) 溝渕 匠
とでつけさでつけ 昔話 参勤交
代(平成4(1992)年5月『秦史談』
49号より) 山本 龍江
絵図「露丸丸入港」「サンフェリ
ーベ座礁」 永国 淳哉
岡山の桃太郎伝説について 広谷喜十郎
再改訂版 信念を貫いた土方久元
の系譜(3) 松本 紀郎

九州・沖縄

◆**季刊 邪馬台国 梓書院**
〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ
ウス3階 TEL092-643-7075 1979年創刊
◇114 2012.7 A5 216p 1238円
巻頭言
日本の考古学は、どこへ行く
〈緊急特集
日本の考古学に、未来はあるのか〉
旧石器研究者を語る 竹岡 俊樹

日本の旧石器研究に未来はあるか
石原 秀晃
「邪馬台国＝畿内説」の論著を検討する
安本 美典
考古学の新聞報道のコメントのあり方
山口 昌美
磯城・磐余の前期大型古墳をめぐる
関川 尚功
〈特集 日本民族の起源 第3弾 人類の起源から、縄文時代まで〉
人類の起源から、日本石器文化まで
編集部
縄文中期、西日本大壊滅
安本 美典
鬼界カルデラ火山大爆発の年代と縄文土器年代
安本 美典
「破局噴火」についてのインターネットひろい読み
編集部
神話と地球物理学
寺田 寅彦
新連載 ブッダへの道(1)一法顕が見た五世紀初頭のアジア
河村 哲夫
新連載 海の民 宗像(1)
一玄界灘の守り神
太神 美香
邪馬台国大研究(22)
井上 修一
九州古代紀行(17) 国生み神話が伝わる飯盛神社を往く
加藤 哲也
私の邪馬台国論「五行思想」と金印「漢委奴国王」
橋本 義博

◆九州史学 九州史学研究会
〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学文学部日本史学研究室内
TEL092-642-2375 1956年創刊
www2.lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/
◇161 2012.7 B5 87p
大内教弘・政弘と東アジア
伊藤 幸司
戦国期日本の優生学論者と産児調節—論争の発生から国民優生法まで
横山 尊

2011年度九州史学研究会大会公開講演 野依秀市から再考するメディア史
佐藤 卓己
書評 野口朋隆著『近世分家大名論—佐賀藩の政治構造と幕藩関係—』
丸山 雍成
2011年度九州史学研究大会発表要旨
公開講演
織豊期王権の論じ方
堀 新
野依秀市から再考するメディア史
佐藤 卓己
研究発表
朝鮮国王の死における近世日朝関係の諸相—享保五年の事例を中心に
有田ゆきな
近世後期瀬戸内港町における経済活動と金融政策
下向井紀彦
立憲体制下の条約締結問題—明治憲法第13条を題材に外交と議会の関係について
伊東かおり
旧制官立大学における「傍系」入学—北海道・東北・九州各帝大への「外地」出身入学者の動向を中心に
永島 広紀
天智・天武朝における氏上制
竹井 良介
戦国期における肥前千葉氏の分裂・抗争—文明年間を中心に
大塚 俊司
中世日向伊東氏関係文書の基礎的研究
宮地 輝和
◇162 2012.8 B5 100p
《特集 戦国期九州の政治過程論》
特集にあたって
堀本 一繁
天文年間前半における大内氏と大友氏の抗争について
吉良 国光
1550年代における大友氏の北部九

州支配の進展—大内義長の治世期を中心に
堀本 一繁
戦国期菊池氏の統治領域と「隈部老中」について
青木 勝士
室町・戦国移行期における南九州の政治情勢
新名 一仁

◆宮崎県地域史研究 宮崎県地域史研究会
〒880-8520宮崎市船塚1-1-2 宮崎公立大学大賀研究室気付 TEL0985-20-2000
年3000円 1993年創刊
◇27 2012.8 B5 39p
『古事記』仁徳天皇条にみる「水潦」の考察
大館 真晴
講演記録 古代の日向—『古事記』の日向関係記事を中心に
永山 修一

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
◇191 2012.7 B5 8p
7月定例会レジュメ
魚垣(カツ)の文化
三輪 大介
8月定例会レジュメ ミャークフツのカナ表記を統一・普及できないか(平良・元市街地方言のカナ表記を基に)
仲宗根浩二
宮古から考える復帰40年
—5・6月定例会より
下地 和宏
「慰霊の日」関連特別展示「宮古のあゆみ—戦争から復帰まで—」の紹介
砂川 史香
(仮称)吉田の陣地壕群について
久貝 弥嗣
下地島における古津波関係遺跡についての調査
平良勝保／山本正昭／山田浩世
宮古の視点でネフスキーを語ろう
—生涯120年記念シンポジウム

開催へ
宮川 耕次
「島中の為メ勲功有之人由来」(「雍正旧記」)が記録する五篇のヤゴについて
下地 利幸
宮中20期・宮高四期生会『それぞれの軌跡』
仲宗根將二
◇192 2012.9 B5 8p
9月定例会レジュメ ネフスキーの「人と学問」 宮古から問い直すシンポジウム
宮川 耕次
10月定例会レジュメ 尻並第二遺跡・金志川豊見親屋敷跡の発掘調査の概要
久貝 弥嗣
7月定例会のまとめ
三輪 大輔
ミャークフツのカナ表記を統一・普及できないか?—8月定例会のまとめ
仲宗根浩二
ネフスキーから宮古を学ぶ
—宮古ネフスキー会を設立
砂川 明
合併後初の宮古島市指定文化財—史跡・大立大殿みゃーか
新城 宗史
第22回企画展「宮古のマングローブ環境とそこに暮らす生き物たち」の紹介
砂川 史香
第7回宮古島市民総合文化祭—一般の部 郷土史部門／シンポジウム復帰四十年
下地 和宏
小緑恵良編著
宮古島市 音楽史年表(1)
仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆震災復興と無形文化—現地からの報告と提言 第6回無形民俗文化財研究協議会報告書
独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊(〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 TEL03-3823-4927)
2012年3月 A4 113頁

2011年11月16日に開催された第6回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。序にかえて(宮田繁幸)／趣旨説明(今石みぎわ)／第一部 被災地からの報告と提言 東日本大震災を乗り越えて一沿岸部の民俗芸能 復興の現状(阿部武司)・津波と無形文化(川島秀一)・被災集落と神社祭礼について(森幸彦)・後方支援と三陸文化復興プロジェクト(小笠原晋)・震災と文化復興(赤坂憲雄)／第二部 総合討議 コメント(小川直之・石垣悟)・ディスカッション／参考資料 関連支援の寄付受付一覧、無形民俗文化財の復興に関する助成一覧、3.11東日本大震災における(社)全日本郷土芸能協会の対応について、アンケート集計結果、協議会参加者一覧

◆二世五姓田芳柳の世界

日本近代洋画の先駆け
古河歴史博物館編・刊 (〒306-0033 茨城県古河市中央町3-10-56 TEL0280-22-5211) 2012年3月 A4 80
平成24年3月17日から5月6日にかけて開催された展覧会の図録。下総国猿島郡杵掛村(現茨城県坂東市杵掛)出身の洋画家、倉持子之吉こと二世御姓田芳柳(1864～1943)の生涯と作品を紹介する。五姓田家の周辺(永井路子)／作品図版(二世五姓田芳柳そのひと二世芳柳の作品世界、肖像一絹絵と油絵、風景一和洋のはざままで、歴史一二世芳柳の真骨頂(歴史をあらわす一ものがたり、歴史の記録一壁画・事歴画)、二世芳柳の描いたもの、師とその系譜一五姓田派と近代洋画(初代五姓田芳柳、チャールズ・ワグマン、五姓田義松、渡辺幽香)／資料(二世五姓田芳柳とパノラマ、「聖徳記念絵画館壁画考証図下絵」透かし文様、書簡、五姓田芳柳作画展覧会、二世五姓田芳柳が描く子ども向け絵本、二世五姓田芳柳年譜)／出品目録／参考文献

◆府中メモリアルー記念品から見た地域の歴

史 府中市郷土の森博物館ブックレット15
府中市郷土の森博物館編・刊 (〒183-0026 東京都府中市南町6-32 TEL042-368-7921) 2012年4月 A5 36頁
凱旋、落成、祈願の証、周年行事、祭礼などの際に製作・配布されたさまざまな記念品を紹介し、それらを通して浮き彫りにされる府中の歩みを振り返る。はじめに／江戸時代以前の記念(歴史を伝えるモニュメント、配布された記念の品)／記念品の誕生(祝賀行事と記念品、施設の落成と記念品、兵役と記念品)／戦後府中の記念品(府中市制の記念品、市の施設の記念品)／さまざまな記念へ(交通と記念品、市内イベントと記念品、多様化し続ける記念品)／府中メモリアル関係略年譜／主要参考文献

◆第31回全国地名研究者大会 災害と地名
日本地名研究所編・刊 (〒213-0001 川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館4F TEL044-812-1106) 2012年6月 B5 96頁
2012年6月9日(土)・10日(日)に開催された第31回全国地名研究者大会の講演記録集。講演・討論資料／地名の警告(谷川健一)／津波と災害地名(川島秀一)／自然災害と地名一地震と津波から(太宰幸子)／長野県の活断層と災害地名(滝沢主悦)／那智川流域の土石流(水害)と地名(田中弘倫)／熊野川流域の災害と地名(向井弘晏)／水害と地名一紀伊半島を襲った明治二十二年の大水害と比較して(桑原康宏)／昭和の熊本大水害と地名(藤吉洗)／沖繩・宮古八重山の明和の大津波(砂川哲雄)／付 地名と地震災害(秋田さきがけ紙)(木村清幸)

◆中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告Ⅱ 神奈川大学歴史調査報告14
安室知編 神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科 (〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661) 2012年3月 A4

183頁
湖南省藍山県に居住する過山系ヤオ族の通過儀礼のうち、宗教職能者としての最高位を叙任する度戒儀礼について行われた総合的調査の報告書。2011年11月の還家願儀礼の調査報告を中心に、購読の成果などを収録する。はじめに(廣田律子)／「大道光中御前呈伝度請聖大疏」の校訂と書き下し／還家願儀礼調査日程／還家願儀礼に関わる宗教職能者と受礼者の名簿及び主催者盤家系図／祭場平面図／還家願儀礼程序／ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録／ヤオ族儀礼神画 トレース画と複製画／藍山県の年中行事／張勁松著『藍山県瑤族伝統文化田野調査』「第三章 還家願」翻訳／還家願儀礼の調査参加記 還家願儀礼における対聯と五谷について(三村宜敬)、還家願儀礼における神画の使用について(譚静)、ヤオ族の文化に触れて(大木都志男)、ヤオ族の調査に関わって(財津直美)、還家願儀礼に見る儀礼に対する意識(岡田浩司)／おわりにかえて(財津直美)
◆藤沢地域の教育力を探るー教育の歴史を通して 藤沢市史ブックレット3
(統)藤沢市史編さん委員会編 藤沢市文書館(〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 TEL0466-24-0171) 2012年3月 A5 145頁
(統)藤沢市史編纂にあたって市史の内容をわかりやすく紹介するブックレットの第3冊。藤沢地域の教育の足跡を訪ね、わかりやすく史実に基づいて紹介する。
近世の教育(寺子屋の教育、宗教教育の専門教育機関としての宗学林、イエ・ムラの教化政策、郷学校の設置)／近代の教育(学校の公布と小学校の設立、中等教育機関としての耕餘塾、義務教育年限の延長、地域に特色を持つ中等学校の設立)／現代の教育(終戦直後の学校、新しい教育への道、人口の急増と学校建設、教職員団体の動き)／参考文献

◆都市化と市民の現代史

(統)藤沢市史 本編1
(統)藤沢市史編さん委員会編 藤沢市文書館(同上) 2011年3月 A5 343+24頁
藤沢市制施行70周年を記念して編纂が開始された藤沢の現代史をまとめる(統)「藤沢市史」本編1。市制施行後の昭和における藤沢の都市的な発展変貌の足どりを中心に記述する。発刊にあたり(海老根靖典)／編集にあたって(小風秀雅)
〔通史編 都市化の軌跡〕市制施行から戦後復興へ(市制施行前後、占領と地域)／戦後復興から高度成長へー爆発する人口(戦後復興の象徴、高度成長と人口の急増)／工業化と地域開発(工業化と人口増加、都市問題と都市計画)／観光と商業の変容(海水浴の動向、東京オリンピックと湘南港、生活革命と商業)／変貌する都市藤沢(高度成長から安定成長へ、葉山市政と都市計画、新しい都市建設と文化政策、都市藤沢の特徴)
〔各論編 I部〕金子市政(1952～1972)の成立と展開(金子市長の誕生まで、都市化と選挙、市長と市議会)／衛星都市の都市計画(はじめに、「大藤沢の時代」、市制施行10周年前後の藤沢市、首都圏の衛星都市として、おわりに)／工業化の波と近郊農業の変貌(工場誘致政策の展開と大規模工場の進出、高度成長期の藤沢の産業構造の変化、市内農業の変容)
〔各論編 II部〕葉山市政(1972～1996)の登場と展開(革新市長誕生まで、葉山市政期の選挙、市長と市議会)／メガロポリス下の総合計画(衛星都市構想と総合都市計画のゆくえ、過密禍の中での都市開発、都市開発からシビルミニマムへ)／藤沢駅前開発と激動の藤沢商業界(流出する市内購買力と藤沢商業、駅南部土地区画整理事業とオーバーストア問題の発生、紛糾する北口再開発事業)

参考文献／あとがき／藤沢市史略年表

◆館蔵資料選集 けきはく所蔵の指定文化財
石川県立歴史博物館編・刊（〒920-0963 金沢市出羽町3-1 TEL076-262-3236）2012年3月
A4 71頁

石川県立歴史博物館が所蔵する資料の中から、主に国と県の文化財に指定されているものを紹介する図録。鎌倉から室町へ（紙本墨書 大般若経、春日懷紙（紙背春日本万葉集）、珠洲秋草文壺、紙本墨書大般若経零本、珠洲鳥樹文小壺、珠洲鳥樹文壺、黒草肩紅白糸威腹巻、畠山義総関係文書、後奈良天皇宸翰女房奉書）／戦国から昭和まで（織田信長朱印状、小宮山家文書、小塚内匠助画像、紫紺糸威獅子牡丹仏胴具足、後藤家文書、岩佐家文書、加州金平鉾山絵巻、辰巳用水絵巻、能登国採魚図絵、金沢城下図屏風、白峰の作り生活の用具、長岡博男眼鏡コレクション、資料一覧）／建造物（旧陸軍金沢樞行社、旧金沢陸軍兵器支廠）

◆吉田の火祭のヒミツ

富士吉田市歴史民俗博物館編（〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田288-1 TEL0555-24-2411）富士吉田市教育委員会刊 2012年6月
A5 34頁

富士吉田市歴史民俗博物館平成24年夏の企画展「吉田の火祭のヒミツ」の解説書。お祭りの内容／火祭の伝説／火祭の流れ／最初のお祭り（本殿祭）／神さまの引越し（御動座祭）／神輿の出発（発輿祭） 二台の神輿、子ども神輿／神輿の行進（神輿の渡御） お寺も火祭に参加／御旅所へ到着（着輿祭） セコ、世話人／タイマツへ点火 神楽の奉納、富士講のお祈り／御旅所を出発（御旅所発輿祭）／金鳥居でのお祭り（金鳥居祭）／神輿の行進（神輿の渡御）／御鞍石祭／あげ松の神事／すすき祭／神さまのお帰（高天原祭～還幸祭） ブクと手間、日本三奇祭、タイマツのいろいろ／

資料

◆織田信長と狩野秀頼—唐獅子図屏風・安土城・観音城主・本能寺の変の謎 戦国史真相探究編3

首藤義之・福住明子著 琵琶湖そよ風出版（〒520-0528 滋賀県大津市和邇高城289-11 首藤義之方）2012年5月 A5 300頁 3500円
狩野秀頼と国宝唐獅子図屏風の謎—国宝唐獅子図屏風・四季花鳥図襖は、狩野永徳筆ではない（麝香猫図屏風の絵師狩野之信／狩野秀頼と土佐光茂の関係／大徳寺聚光院の花鳥図襖は、狩野永徳筆ではない／国宝唐獅子図屏風は、狩野永徳筆ではない／国宝唐獅子図屏風の注文主と制作年代、画題／狩野永頼と狩野永徳筆作品の新分類、高雄観楓図屏風は、何を語っているのか／織田信長の肖像画を描いた絵師の謎）／織田信長と安土城・観音城主・本能寺の変の謎—安土山御天主は八角七重塔で、佐々木義秀は実在し、本能寺の変は徳川家康が関与している（織田信長と絵師狩野家・彫物師後藤家との関係／織田信長と彫物師との親族関係／歪められた織田信長の実像／観音城主佐々木義秀は、実在の重要人物／安土山御天主の形と築造の理由／織田信長の安土宗論を全面的に見直す／徳川家康は、本能寺の変に関与している／本能寺の変に法華宗不受不施派の僧侶も関与か）

◆阪神・淡路大震災 伊丹からの発信

手引・資料編 伊丹市立博物館史料集9
伊丹市立博物館編・刊（〒664-0898 兵庫県伊丹市千僧1-1 TEL0727-83-0582）2012年3月
B5 306頁

伊丹市立博物館により阪神・淡路大震災関連の原資料などをまとめた震災資料集『手引・資料編』（2011年3月刊）に引き続き、市役所で保管している震災関連の行政資料・統計資料とともに、博物館が独自に収集した震災体験記録などを中心に、伊丹市内の被災状況およ

び復興の様子について詳述する。序章 伊丹の歴史の中から阪神・淡路大震災を考える（奥村弘）／第一章 兵庫県南部地震の発生・初期対応（川内淳史・水本有香・佐々木和子）／第二章 阪神・淡路大震災からの復旧（水本有香・川内淳史）／第三章 阪神・淡路大震災からの復興（佐々木和子・小長谷正治・水本有香）／終章 歴史としての伊丹の大震災（三輪泰史）／付録DVD 資料（『手引・資料編』未掲載原資料、伊丹市議会議事録、東日本大震災に関する広報伊丹）、『手引・資料編』所収年表・統計データPDF

◆対馬・沖縄調査報告集 2010～12年科学研究費補助金 基盤研究（B）「藩世界と東アジア世界—西日本地域を中心に—」

紙屋敦之編・刊（〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学部 TEL03-5286-3735）2012年3月 A4 94頁
刊行にあたって（紙屋敦之）／対馬藩宗家の仮養子史料—近世中期の相続問題を中心に（大森映子）／対馬藩田代領における宝暦期「宗意心得違」一件（2）（大橋幸泰）／明治初年の

◆後記

名古屋市千種区の商店街で学生起業の店舗運営を指導する椋山女学園大学の武長脩行先生から、その様子を伝える新聞記事（『読売新聞』中部版、2012.12.11）と、市民と行政の協働によるまちづくりについての寄稿文（『中部経済新聞』2013.1.15）を頂いた。まちづくりは、「まずは、住民が自分の“地域”を好きになり、良さを発見し課題を見つけ、時代の変化に対応した地域にする。そのためには自らが地域活動に参加することが要請される」という。担い手は地域組織（自治会等）、NPO、ボランティアなど多様で、ボランティア活動が活発な地域には助け合いがあり、行政の効率化につながるとして、経済的效果を試算してみせる。阪神淡路大震災と東日本大震災により共助の地域組織の役割の大切さが再認識されるようになった。地域活動への参加スタイルは人それぞれでいい。「ボランティア活動をする個人的メリットは自分のためである」。しがらみから自分を解放し、様々な分野の人たちとの自由で平等な出会いを楽しむ。若い時から参加して人脈をつくれば老後の楽しみが見出せるという副次的な効果もあるとけしかける。郷土史研究の理念と通じるものがあると強く感じた。郷土史研究も心ある者が寄り集まって場を作り、学びあうことを通してよりよい地域づくり、地域文化の向上に寄与する運動体であると思う。何だか元気が湧いてきた。

地方史情報 113 2013年(平成25年)2月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757